

第1回
宮崎整形外科懇話会
プログラム

期 日 : 昭和55年12月20日(土)
14時30分 開会

会 場 : 宮崎県医師会館 4F 研修室

事務局 : 宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200

TEL 09858-5-1510(代)
内線 2220

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会 費 : 会場受付で申し受けます。
会 場 費 1000円
懇親会費 2000円

2. 懇親会 : 講演終了後 3Fで忘年会をかねて会員全部で
懇親会を予定しております。
多数の御参集をお待ちしています。

—— 口演者へのお知らせ ——

1. 口 演 時 間 : 1題7分以内, 討論3分程度.
活発にお願いします。

2. 口演用スライド : 単写と致します。演者は 口演30分前
までにスライドを受付にお出し下さい。

3. 口演内容を記録に残したいと思しますので, 未提出の方は
400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

I. 開 会 (14:30)

II. 一搬演題

(14:35~15:15) 座長 永田高見

1. 膝メニスクス Ganglion の1例

宮崎医科大学整形外科 ○岡田 光司

2. demoplastic fibroma と誤診された大腿骨頭部に発生せる fibrosarcoma の症例

県立延岡病院 ○内賀嶋英明 永田 高見
木屋博昭 弓削 孝雄
酒井 健

3. Candida parapsilosis による膝関節炎の1例

甲斐整形外科 ○甲斐 佐

4. Charcot joint の3例

宮崎医科大学整形外科 ○平川 俊一 武内 晴明
木村 千似

(15:15~15:55) 座長 岩切清文

5. 足関節顆部骨折の治療経験

県立日南病院整形外科 ○平野 博史 中村 雅史
長谷川 善廣

6. 大腿骨顆部骨折について (第一報)

江南病院 ○上塚 満

7. 小児大腿骨骨幹部骨折に対する Weber 法の小経験

県立宮崎病院整形外科 ○具 哲也 岩切 清文
小林 邦雄 徳久 俊一
小永 洋次 藤子 生 健泰
宮元 修 藤田 宏

8. 外傷性股関節脱臼について

県立延岡病院 ○木屋 博昭 永田 高見
谷脇 功 弓削 孝英
酒井 健

休 憩 (10分)

(16:05~16:45) 座長 田島直也

9. 当院における最近2年間の手指新鮮損傷の小経験
山田整形外科 ○山田 文夫
10. アキレス腱断裂に対する皮下縫合術の小経験
県立宮崎病院整形外科 ○宮元 修一 具鹿 哲也
藤田 泰宏 鹿徳 健一
永吉 洋次 岩切 俊清
小 林 邦 雄
11. 有意識下高位頸髄損傷患者の長期バード使用経験
県立延岡病院 ○谷脇 功一 永田 高見
木酒 博 昭 弓 削 孝雄
12. 当学における Biocreen Room system について
宮崎医科大学整形外科 ○佐藤 信博 木村 千仞
税所 幸一郎 押川 紘一郎

III. 特別講演

(16:45~17:40) 座長 木村千仞

「ステロイド投与による骨壊死の病態と臨床」
~~「ステロイド性骨壊死」~~

北里大学整形外科 真角昭吾 助教授

IV. 閉 会

懇 親 会 (18:00より)

第 2 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日 : 昭和 56 年 6 月 27 日 (土)

14 時 30 分 開 会

会 場 : 宮 崎 県 医 師 会 館 4F 研 修 室

Tel. 22-5118

事 務 局 : 宮 崎 医 科 大 学 整 形 外 科 学 教 室

〒 889-16

宮 崎 県 宮 崎 郡 清 武 町 大 字 木 原 5200

Tel. 09858-5-1510 (代)

内 線 2220

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会 費 : 会場受付で申し受けます。

会 場 費 1000 円

—— 口演者へのお知らせ ——

1. 口 演 時 間 : 1 題 7 分以内, 討論 3 分程度
活発にお願いします。
2. 口演用スライド : 単写と致します。演者は口演 30 分前
までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので, 未提出の方は
400 字詰原稿用紙 1 枚の抄録を受付に御提出願います。

I. 開 会 (14;30)

II. 一般演題 (14;35~15;15) 座長 永田高見

1. 脊髄症状を呈した Achondroplasia の 1 例

宮崎医大整形外科 ○岡田 光司 田島 直也
森山 和幸

2. 両腓骨欠損症の治療経験

県立宮崎病院 ○井上 善博 岩切 清文

3. 肢体不自由児施設の役割

県立整肢学園 ○河合 尚志 藤樹 宏

4. psoriatic arthritis の 1 例

宮崎医大整形外科 ○武内 晴明 木村 千俣

(15;15~15;55) 座長 岩切清文

5. 習慣性肩関節脱臼に対する Bristow-Mcmurray 法の小経験

県立宮崎病院 ○宮元 修一

6. 大腿脛部骨折について — 第二報 —

江南病院 ○上塚 満

7. 全人工膝関節置換術を行つた脛骨^④骨肉腫の経験

宮崎医大整形外科 ○戸田 勝 木村 千仞

8. 人工股関節術後にトラブルを起こした2症例について

県立延岡病院 ○木屋 博昭 永田 高見
谷脇 功一 弓削 孝雄
内賀嶋 英明 酒井 健

———— 休 憩 (10分) ————

III. 特別講演 (16;05~17;00) 座長 木村千仞

「骨折の治療」

兵庫医大整形外科 桜井 修 助教授

IV. 閉 会

以 上

第 3 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日 : 昭和 56 年 12 月 19 日 (土)
14 時 30 分 開会

会 場 : 宮 崎 県 医 師 会 館 4 F 研 修 室
Tel. 22-5118

事務局 : 宮 崎 医 科 大 学 整 形 外 科 学 教 室

〒889-16

宮 崎 県 宮 崎 郡 清 武 町 大 字 木 原 5200

Tel. 09858-5-1510 (代)

内 線 2220

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会 費 : 会場受付で申し受けます。

会場費 1000円

—— 口演者へのお知らせ ——

1. 口 演 時 間 : 1題7分以内, 討論3分程度
活発にお願いします。
2. 口演用スライド : 単写と致します。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので, 未提出の方は400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

—— 懇親忘年会のお知らせ ——

講演終了後, 3F会議室にて懇親忘年会を催しますので, 多数御参加下さい。

会 費 3000円

I. 開 会 (14:30)

II. 一般演題 (14:35~15:25) 座長 岩切清文

1. 投球骨折の2例

県立延岡病院 ○宮崎 寛 , 他

2. コレース骨折の私の治療

江南病院 ○上塚 満

3. 陳旧性月状骨周囲背側脱臼の治療経験

県立宮崎病院 ○井上 善博 岩切 清文

4. Judet の膝関節授動術の経験

宮崎医大整形外科 ○平川 俊一 武内 晴明

5. RA 外反母趾に対する矯正手術の試み

宮崎医大整形外科 ○木村 千仞 山口 一郎
戸田 勝

—— 休 憩 (10分) ——

(15:35~16:25) 座長 木村千仞

6. Zone V, VI, VII 部位 (Verdan) 損傷症例について

山田整形外科医院 ○山田 文夫

7. 遅発性尺骨神経麻痺に対する Non-compressing fascio-dermal sling を用いた尺骨神経前方移動術について

県立宮崎病院

○宮元 修一 岩切 清文
小林 邦雄 徳久 俊雄
山口 美弘 井上 善博
川村 秀哉

8. 末梢神経に発症する脂肪線維腫性過誤腫の 1 例

県立延岡病院

○酒井 健 , 他

9. アミパークによる腰椎ミエログラフィー

多田病院

○後藤 一成

10. 転移性脊椎腫瘍 ——最近の剖検例から——

宮崎医大整形外科

○岡田 光司 田島 直也

III. 特別講演 (16:25~17:20) 座長 木村千仞

「最近における慢性関節リウマチの治療の動向について」

滋賀医大整形外科

七川 欽次 教授

IV. 閉 会

(17:30~) 懇親忘年会 (3階会議室にて)

第 4 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日：昭和 57 年 6 月 26 日 (土)
14 時 30 分 開会

会 場：宮崎県医師会館 4F 研修室
Tel. 22-5118

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200

Tel. 09858-5-1510 (代)

内線 2220

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会費：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円

—— 口演者へのお知らせ ——

1. 口演時間：1題7分程度，討論3分程度
活発にお願いします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までに
スライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので，400字詰原稿用
紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

—— 懇親会のお知らせ ——

講演終了後，3F会議室で懇親会を催しますので，多数御参加
下さい。

会費 2000円

1. 開 会 (14:30)

2. 一般演題 (14:40~15:30) 座長 永田高見

1. 坐骨神経麻痺をきたした malignant schwannoma の1例

宮崎医大整形外科 ○川野 桂一郎 岡田 光司
木村 千仞

2. 坐骨神経鞘腫の2例

県立宮崎病院整形外科 ○亀山 博生

3. 両側肩甲下部に発生した弾性線維腫の1例

県立宮崎病院整形外科 ○宮元 修一

4. 診断に迷った胸腔内腫瘍について

宮崎医大整形外科 ○岡田 光司 戸田 勝
木村 千仞

5. 骨・軟部悪性腫瘍に対する MTX 大量療法の経験

宮崎医大整形外科 ○平川 俊一 武内 晴明
川野 桂一郎 三浦 広典

—— 休 憩 (10分) ——

(15:40~16:20) 座長 岩切清文

6. 小児顳上骨折 —— 私の治療 ——

江南病院整形外科 ○上塚 満

7. エンダー釘の問題点

県立延岡病院整形外科 ○宮崎 寛 酒井 健
永田 高見 谷脇 功一
木屋 博昭 弓削 孝雄

8. 外傷性膝関節脱臼の1例

県立延岡病院整形外科 ○酒井 健 宮崎 寛
永田 高見 谷脇 功一
木屋 博昭 弓削 孝雄

9. 最近経験した肩関節腱板広範囲断裂の手術例

整形外科前原病院 ○前原 東洋 前原 東作

—— 休 憩 (5分) ——

III. 特別講演 (16:25~17:20) 座長 木村千仞

「腰部脊柱管狭窄の病態と治療」

富山医科薬科大学整形外科 辻 陽雄 教授

IV. 閉 会

(17:30~) 懇 親 会 (3F会議室)

第 5 回
宮崎整形外科懇話会
プログラム

期 日：昭和57年12月18日（土）
14時00分 開 会

会 場：宮崎県医師会館 4F研修室
Tel. 22—5118

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889—16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200

Tel. 09858—5—1510（代）

内 線 2220

参加者へのお知らせ

1. 会費：会場受付で申し受けます。

会場費 1,000円

口演者へのお知らせ

1. 口演時間：1題7分程度，討論3分程度
活発にお願いします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので，400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

世話人会のお知らせ

1. 13時30分～14時00分 3F会議室

懇親会のお知らせ

講演終了後，3F会議室で懇親会を催しますので，多数御参加下さい。

会費 2,000円

演 題 目 次

I 開 会

II 一般演題 (14:00~14:40)

座 長 田 島 直 也

1. 腰部椎間板中心性ヘルニアの5例

県立宮崎病院 ○宮元修一

2. 小児の頸椎々間板石灰化症の1例

寺本整形多科 ○寺本昭三
県立宮崎病院 和田 研

3. 比較的稀な橈骨神経 neurinoma

県立延岡病院 ○酒井 健

4. 手 zone 2・3 部位の屈筋腱損傷の小経験

山田整形外科 ○山田文夫

III 一般演題 (14:40~15:20)

座 長 永 田 高 見

5. 高齢者に対する Ender pin 法の経験

宮崎医大整形外科

○税所 幸一郎, 木村 千 仞

岡田 光 司, 武内 晴 明

潤和会記念病院整形外科

大野 和 男

6. 偽性痛風の3例

県立宮崎病院

○中間 秀雄, 岩切 清文

7. リウマチ足の変形について

宮崎医大整形外科

○森山 和幸, 三浦 広典
木村 千仞

8. 関節リウマチにおける骨塩分析

宮崎医大整形外科

○戸田 勝, 平川 俊一
武内 晴明, 木村 千仞

————— 休 憩 (10分) —————

IV 一般演題 (15:30~16:20)

座長 岩切 清文

9. 第三者行為医療の特異性

尾田整形外科

○尾田 博

10. 第2回大分国際車椅子マラソン大会の報告

産業医大リハビリテーション科

○出口 義宏, 緒方 甫
浅山 愧, 森田 秀明
今村 義典, 三原 伊保子
宮原 恵子, 大隈 秀信

11. 当院における老人医療の現況 (主として観血的療法について)

県立延岡病院

○内賀嶋 英明, 永田 高見
谷脇 功一, 木屋 博昭
弓削 孝雄, 菊田 勇
酒井 健

12. 温冷療法の実験的考察

— 組織温変化からみた各種温冷療法の効果の比較 —

産業医大リハビリテーション科

○出口 義宏, 緒方 甫
浅山 幌, 森田 秀明
今村 義典, 三原 伊保子
宮原 恵子, 大隈 秀信

13. 欧米をめぐる (15分)

宮崎医大整形外科

田島 直也

————— 休 憩 (5分) —————

V 特別講演 (16:25~17:30)

座長 木村 千仞

「頸椎症の診断と治療」

山口大学整形外科

服部 奨 教授

VI 閉 会

VII 懇親忘年会 (18:00~) 3 F 会議室

演 題 2

小児の頸椎間板石灰化症の1例

都城市 寺本整形外科

○寺 本 昭 三

県立宮崎病院整形外科

和 田 研

9才男子

主訴，左頸部痛，

現病歴，36日以前に頸椎の回旋困難となり，某整形外科受診し，喉頭に石灰化を指摘され，電気治療1週受けて，可動性を回復した。3日前に左頸部痛を来し，当科受診した。

現症，頸椎変形なし，可動域正常であるが運動痛を訴える。血沈，CRP，白血球数，血清Ca，Al-p値正常，Ac-PとPが軽度に上昇し，X線上第5，6頸椎間に石灰を認めた。

湿布薬のみを投与し，経過観察しているうち次第に石灰化は縮少し，7ヶ月後には完全に消失した。

演 題 5

高令者に対する Ender pin 法の経験

宮崎医科大学整形外科

○税 所 幸一郎, 木 村 千 仞

岡 田 光 司, 武 内 晴 明

潤和会記念病院整形外科

大 野 和 男

大腿骨頸部外側骨折は高令者によく見られる骨折であるが、治療としては、患者の全身状態や術後の機能回復のことなどから、早期離床・早期運動の可能な観血的治療が主にされている。今回、我々は外側骨折に対する内固定法である Ender pin 法を経験したので報告する。

昭和53年より昭和57年の間に潤和会記念病院にて治療した大腿骨頸部骨折は70例、70関節である。外側骨折45例・内側骨折25例、男性7例・女性63例で、年齢は45才～93才（平均76・4才）である。全身状態不良のため観血的治療が出来なかった7関節を除き、64関節に観血的治療を行った。

内側骨折に対しては22例に観血的治療（人工骨頭19例、骨接合術3例）を行った。外側骨折に対しては41例にい、Ender pin 41例、Küntsch nail 1例であった。

Ender pin を行った40例は、男性6例、女性34例で、年齢は62才～93才（平均79・9才）であった。術前合併症としては、脳血管障害、心筋障害、老人性痴呆・高血圧・慢性関節リウマチなどがあった。

骨折型を Evans の分類に従って分類すると、Stable type : 30例 (Group 1 : 21例, Group 2 : 9例), Unstable type : 8例 (Group 3 : 4例, Group 4 : 0例 Type II : 4例), であった。

手術は腰椎麻酔もしくは硬膜外麻酔下に行った。Ender pin は原則として3本使用した。術後は1～2週目より起立訓練、2～4週目より歩行訓練を開始し

た。

術後の X 線上の「みかけの頸体角」の変化をみると、不変 18 例 (54.5%)、 10° 以上の内反傾向を示したもの 11 例 (33.3%) うち 4 例は 110° 以下の内反変形を示した。外反傾向を示すもの 4 例 (12.1%) で 150° 以上の外反変形を示したものの 1 例であった。その他に癒合不全 1 例、釘の脱落 4 例をみた。

演 題 7

リウマチ足の変形について

宮崎医科大学整形外科学教室

○森山和幸, 三浦広典
木村千似

目的) 慢性関節リウマチ (RA と略する) 患者を対象として足部の変形を X 線学的に検討したので報告する。

対象) 70名(男子7名を含む) Probable RA 45名, Classical RA 31名, Definite RA 34名, 年齢 14 ~ 80 歳。全員の罹病期間, Steinblocker の stage 分類 X 線学的 RA 変化と罹患部位, 扁平足, 開排足の計測を行った。

方法) 足部 X 線は立位で前後, 左右とし扁平足の判定は横倉の計測法によった。

結論) ① Narrowing, Erosio, 骨破壊, 強直など RA による関節変化は足根部および MTP に多く見られた。

② 扁平足については正常 50 足, 軽度 52 足, 高度 48 足であった。

③ 開排足は 29° 以下が 112 足, $30^{\circ} \sim 39^{\circ}$ が 40 足, 40° 以上は 0 であった。

④ RA Stage と扁平足との相関は Stage 進行の少ないものでは正常又は軽度扁平足, 進行例では高度扁平足が多かった。

⑤ 開張足と扁平足の間には相関はみられなかった。

演 題 8

関節リウマチにおける骨塩分析

宮崎医科大学整形外科学教室

○戸 田 勝, 平 川 俊 一
武 内 晴 明, 木 村 千 仞

関節リウマチ (RA) において, 骨の萎縮度や骨粗鬆症の存在を知ることは, 診断上のみならず治療上も重要なことである。しかし, これを客観的に数値その他で現わすことは, 余り容易なことではない。今回, 我々は RA 患者について橈骨々塩量を測定し, レ線上の骨変化と対比し, 検討を加えた。

対象は, 当科外来ならびに入院治療中 54 例 (Possible RA 1 例, Defenite 26 例, Dassical 27 例) で, 女 51 例, 男 3 例, 平均年齢 49.8 歳である。骨塩量の測定には, Norland-Cameron の Bone Mineral Analyzer (BMA) を用い, 左橈骨遠位 $\frac{1}{8}$ 部で行った。さらに同部をアルミスロープを入れたレ線で, microdensitometer を用いて, 測定した。RA 患者における骨の状態を現わす試みとして両測定法を用いて, いささかの知見を得たので, 報告する。

演 題 10

「第2回大分国際車椅子マラソン大会の報告」

産業医科大学リハビリテーション科

○出口 義宏, 緒方 甫
浅山 愧, 森田 秀明
今村 義典, 三原 伊保子
宮原 恵子, 大隈 秀信

わが国の身障者スポーツ競技のなかで、車椅子マラソンに関する報告は少ない。今回、演者は、第2回大分国際車椅子マラソン大会に、メディカルチェック担当のボランティアとして参加したので、その状況を中心に報告する。競技成績にしめる車椅子の性能は、競技者の体力とともに、重要な要素をしめている。大会中、とりわけ外国選手の車椅子は、軽量化（10kg以下）、安定化の工夫、路面抵抗の軽減化のためのタイヤの工夫、褥創予防を目的としたバケットシートなど、従来の車椅子スポーツ競技の規格にはみられない様々の改良、工夫がなされていた。大会参加者の体力についての調査も行なったので、その一部を報告する。車椅子マラソンは、チーム競技と違い、参加者個人の体力の水準と特徴を明らかにできるという利点をもち、対麻痺者の残存機能の強化、耐久性の向上の上でも、すぐれたスポーツ競技であることがうかがわれた。

演 題 12

「温冷療法の実験的考察

— 組織温変化からみた各種温冷療法の効果の比較 —

産業医科大学リハビリテーション科

○出口 義宏, 緒方 甫
浅山 愷, 森田 秀明
今村 義典, 三原 伊保子
宮原 恵子, 大隈 秀信

現在リハビリテーション医学領域で行なわれる温冷療法の有効性については様々の検討が加えられているが、実際の組織内温度の変化を厳密に測定した報告は少ない。今回、人工気象室で、銅コンスタンタン熱電対を使用し大腿前面に温冷刺激を負荷し、組織温の変化を調べた。温冷療法—極超短波刺激では、皮膚・皮下に比し筋肉深部の上昇が終了直後まで有意にみられたが、15分・30分後は有意差を認めず、深さによる差は少ない。赤外線は、皮膚・皮下の上昇が有意にみられその効果は持続した。超音射では、筋肉部の上昇が軽度みられ、以上三者の比較では、皮膚・皮下は、赤外線 > 極超短波 > 超音射の順で上昇がみられ、筋肉部では極超短波が、他二者に比し有意な上昇を示した。寒冷療法—アイスパックが極低温療法に比し直後の皮膚温を除けばいずれの部位でも有意な下降を示し効果時間も長かった。反対側大腿にアイスパック負荷後リバウンドと思われる上昇を認めた。

薬価基準収載

血中のリポ蛋白を
クリーンにする



住友化学が開発した
リポ蛋白代謝改善剤

リポクリン[®]錠200

1 リポ蛋白代謝異常の改善

- HDL・コレステロールの増加および LDL・コレステロールの低下
- 動脈硬化指数(Atherogenic Index)の改善
- アポ蛋白A-I濃度の増加
- LCAT活性の上昇

2 血清総コレステロールおよび トリグリセライドの低下

3 心電図異常の改善

組成:

1錠中クリノフィブラート200mg

適応症: 高脂質血症

用法・用量: 通常、成人1日3錠
(クリノフィブラートとして
600mg)を3回に分けて経口
投与する。

なお、年齢、症状により
適宜増減する。

使用上の注意

1. 一般の注意

- 本剤の適用にあたっては、次の点に十分留意すること。
(1) 適用の範囲に十分な検査を実施し、高脂質血症である
ことを確認した上で本剤の適用を考慮すること。
(2) あらかじめ高脂質血症の根本である食事療法を行い
更に運動療法や、高血圧・喫煙等の心血管性疾患の
リスクファクターの軽減等も十分に考慮すること。
(3) 投与中は血中脂質値を定期的に検査し、治療に対する
反応が認められない場合には投与を中止すること。
 - 次の患者には投与しないこと
妊娠又は妊娠している可能性のある婦人・授乳婦
 - 次の患者には慎重に投与すること
肝・腎障害又はその既往歴のある患者
- ★その他の使用上の注意については、添付文書をご一読ください。



大阪市東区道修町2丁目40

住友化学 医薬事業部 稲畑産業 医薬事業部

販売元

S 82-1

痛みのfirst stepをブロックする!



経皮鎮痛消炎剤

インテバン[®]軟膏

組成 インドメタシン……………1%(w/w)

Indometacin oint.: Inteban oint.

- すぐれた鎮痛・消炎作用
- さわやかな使用感

適応症 下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎

変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、
上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

用法 用量 症状により、適量を1日数回患部に塗擦する。

使用上の注意

● 副作用

皮膚: ときに痒痒、熱感、発赤及び発疹が、また、まれに腫脹、乾燥感及びヒリヒリ感があらわれることがある。これらの症状が強い場合は使用を中止すること。

★その他の使用上の注意については

● 適用上の注意

- (1) 傷及び粘膜に使用しないこと。
- (2) 表皮が欠損している場合に使用すると一時的にしみる。ヒリヒリ感を起こすことがあるので使用に際し注意すること。
- (3) 密封包装法で使用しないこと。

添付文書をご一読ください。

包装 25g×10, 50 50g×10, 50

薬価基準収載



大阪市東区道修町2丁目40

住友化学 医薬事業部 稲畑産業 医薬事業部

販売元

第 6 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日：昭和58年7月16日(土)
14時30分 開会

会 場：宮崎県医師会館4F研修室
Tel. 22-5118

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200

Tel. 09858-5-1510 (代)

内線 2220

————— 参加者へのお知らせ —————

1. 会 費：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円

————— 口演者へのお知らせ —————

1. 口 演 時 間：1題7分程度，討論3分程度

活発にお願いします。

2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までに
スライドを受付にお出し下さい。

3. 口演内容を記録に残したいと思いますので，400字詰原稿用
紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

————— 世話人会のお知らせ —————

1. 13時30分～14時30分 3F会議室

————— 懇親会のお知らせ —————

講演終了後，3F会議室で懇親会を催しますので，多数御参加
下さい。

会 費 2000円

I. 開 会 (14:30)

II. 一般演題 (14:35~16:20) 座長 岩切清文

1. 整形外科における微小外科の現況報告

宮崎医大整形外科 ○山口 一郎

2. Osteopoiklosis の 1 症例

県立延岡病院整形外科 ○内賀島英明 谷脇 功一
弓削 考雄

3. 長期間経過観察した Tumoral Calcinosis の 2 例

県立宮崎病院整形外科 ○中間 季雄 岩切 清文
丸田整形外科 丸田 広

4. 肩関節結核の 1 症例

宮崎医大整形外科 ○税所 幸一郎 木村 千俣
岡田 光司

座長 河合尚志

5. Epidural tube 遺残例の 1 例

宮崎医大整形外科 ○木下 泰行 川野 桂一郎
田島 直也
国立都城病院外科 奥村 恭久
宮崎医大麻醉科 安達 寛

6. 麻痺の改善せる脊椎カリエスの 1 症例

県立延岡病院整形外科 ○菊田 勇 永田 高見
木屋 博昭 酒井 健

7. 脊椎外傷の小経験

宮崎医大整形外科

○三浦 広典

川野 桂一郎

田島 直也

大島整形外科

大島 康宏

富吉共立病院整形外科

獅子目 輯

座長 永田高見

8. 腰椎分離じり症と股関節OA合併例に対する手術症例の検討
(Knod's rod とTHR例)

前原病院整形外科

○前原 東洋

前原 東作

9. 最近7年間におけるペルテス病の保存的療法と観血的療法の
治療成績について

県立宮崎病院整形外科

○宮元 修一

10. Marmor型人工膝関節による片側置換術の経験

潤和会記念病院

○大野 和男

宮崎医大整形外科

税所 幸一郎

11. 当科における関節鏡検査と関節鏡視下手術

県立日南病院整形外科

○井手 降俊

—— 休 憩 (10分) ——

III. 特別講演 (16:30~17:30)

座長 木村千仞

「小児・成人における股関節骨切術の各種の適応と術式・成績
について —— とくに実際的な面を中心として —— 」

香川医科大学整形外科

上野良三教授

IV. 閉 会

V. 懇親会 (18:00~) 3F会議室

以 上

第 7 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日：昭和 58 年 12 月 10 日 (土)
14 時 30 分 開会

会 場：宮崎県医師会館 4 F 研修室
Tel. 22-5118

事 務 局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200

Tel. 09858-5-1510 (代)

内線 2220

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会 費：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円

—— 口演者へのお知らせ ——

1. 口 演 時 間：1題7分程度，討論3分程度

活発にお願いします。

2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までに

スライドを受付にお出し下さい。

3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿用

紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

—— 世話人会のお知らせ ——

1. 13時30分～14時30分 3F会議室

—— 懇親会のお知らせ ——

講演終了後、3F会議室で懇親会を催しますので、多数御参加
下さい。

会 費 2000円

I. 開 会 (14:30)

II. 一般演題 (14:35~16:20) 座長 谷 脇 功 一

1. 抗生剤セフアメタゾンの骨・軟部組織への移行度

宮崎医大整形外科 ○木下 泰行 木村 千俣
福田 健二

2. 膝関節部骨腫瘍に対するセラミック Filler の使用経験

宮崎医大整形外科 ○戸田 勝 木村 千俣
武内 晴明

3. 診断に難渋した神経芽細胞腫骨髄転移の一例

県立宮崎病院整形外科 ○高杉 紳一郎 田代 逸哉
丸田 広

座長 小 林 邦 雄

4. 整形外科的疾患における呼吸不全について

県立延岡病院整形外科 ○菊田 勇, 他

5. 高度側彎症の治療経験

宮崎医大整形外科 ○田代 宏一 出口 義宏
三浦 広典 川野 桂一郎
田島 直也

6. 側彎症における hanging 効果の検討

宮崎医大整形外科 ○三股 恒夫 三浦 広典
出口 義宏 川野 桂一郎
田島 直也

7. 肩腱板損傷の経験

永吉整形外科

○永吉 洋次

座長 河合尚志

8. ギオン管症候群の一例

丸田整形外科

○丸田 広

9. 橈骨神経麻痺をきたした先天性橈骨脱臼の1例

県立延岡病院整形外科 ○谷脇 功一, 他

10. 手掌部重度損傷の小経験

山田整形外科

○山田 文夫

11. 当科における最近20年間のキーンベック病の検討

県立宮崎病院整形外科 ○渡辺 綱伸 宮元 修一

—— 休 憩 (10分) ——

III. 特別講演 (16:30~17:30) 座長 木村千仞

「大腿骨頭回転骨切り術の成績と適応について」

九州大学医学部整形外科 杉岡洋一 教授

IV. 閉 会

V. 懇親忘年会 (18:00~) 3F会議室にて

以 上

第 8 回
宮崎整形外科懇話会
プログラム

期 日：昭和59年6月30日(土)

15:00 開会

会 場：宮崎市松山町1丁目1番1号

宮崎観光ホテル 小戸ノ間(1F)

(TEL 0985-27-1212)

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200

TEL 0985-85-1510 (代)

内線 2220

——— 参加者へのお知らせ ———

1 会 費：会場受付で申し受けます。

会場費 1000 円

年会費（59年度分） 5000 円

——— 口演者へのお知らせ ———

1. 口 演 時 間：1 題 7 分程度，討論 3 分程度

活発にお願いします。

2 口演用スライド：単写とします。演者は口演 30 分前までに

スライドを受付にお出し下さい。

3. 口演内容を記録に残したいと思いますので，400 字詰原稿用

紙 1 枚の抄録を受付に御提出願います。

——— 世話人会のお知らせ ———

1. 14:30～15:00 宮崎観光ホテル 綾ノ間（1F）

I. 開 会 (15:00)

II. 一般演題 ① (15:00 ~ 15:50) 座長 谷 脇 功 一

1. 頸椎に発生した Benign Hemangioendothelioma の 1 例

県立延岡病院整形外科 ○内賀島 英明 永田 高見
谷脇 功一 木屋 博昭
弓削 孝雄 酒井 健
菊田 勇

2. 悪性腫瘍骨転移の 2 例

県立宮崎病院整形外科 ○小林 邦雄

3. 頸髄損傷の一治験例

宮崎江南病院整形外科 ○上塚 満

4. RA と Focal mucinosis について

宮崎医大整形外科 ○松本 宏一 木村 千似
中村 誠司 福田 健二
三股 恒夫
宮崎医大皮膚科 井上 勝平 成田 博実

5. 運動発達遅延児の原因と経過

宮崎県立整肢学園 ○河合 尚志 木下 泰行
大里 裕治

III. 一般演題 ② (15:50 ~ 16:30) 座長 小 林 邦 雄

6. 上肢及び肩甲帯ひきぬき損傷の 1 例

県立延岡病院整形外科 ○菊田 勇

7. 四肢末梢循環障害に対する胸・腰部交感神経アルコール
ブロック

県立延岡病院整形外科 ○菊田 勇

8. 上腕動脈断裂を伴つた外傷性肘関節開放脱臼の1例

県立延岡病院整形外科 ○酒井 健 永田 高見
谷脇 功一 木屋 博昭
弓削 孝雄 内賀島 英明
菊田 勇

9. 股関節固定術後のADL

宮崎医大整形外科 ○出口 義宏 木村 千似
武内 晴明 三浦 広典

IV. 閉 会

第 9 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日：昭和 59 年 12 月 1 日 (土)

14:00 開会

会 場：宮崎県医師会館 4 F 研修室

Tel. 22-5118

事 務 局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200

Tel. 0985-85-1510 (代)

内線 2220

直 通 0985-85-0986

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会 費：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円

2. 今年度、年会費未納の方は受付で納入お願いします。

—— 口演者へのお知らせ ——

1. 口 演 時 間：1題7分程度，討論3分程度

活発にお願いします。

2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までに

スライドを受付にお出し下さい。

3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用

紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

—— 世話人会のお知らせ ——

1. 13.00～14.00

1F会議室

—— 懇親会のお知らせ ——

講演終了後、3F会議室で懇親会を催しますので、多数御参加
下さい。

会 費 2000円

I. 開 会 (14:00)

II. 一般演題

A) 外傷など (14:00~15:00) 座長 小林 邦雄

1. ゴルフによる有鉤骨鉤骨折の1例

永吉整形外科 ○永吉 洋次 岩切 清文

2. 足関節外側々副靭帯損傷の治療経験

宮崎医大整形外科 ○三浦 広典 長鶴 義隆
中村 誠司 三股 恒夫
黒木 俊政 木村 千似

3. 末梢神経損傷の小経験

山田整形外科 ○山田 文夫

4. 拇指MP関節脱臼の一症例——整復困難な症例を観血的に整復

済生会日向病院整形外科 ○脇山 尚登 酒井 健

5. 尺骨鉤状突起単独骨折の2例

県立延岡病院整形外科 ○内賀島 英明 木屋 博昭
永田 高見 谷脇 功一
弓削 孝雄 酒井 健
菊田 勇
谷村病院整形外科 市原 正彬

6. 治療に難渋した大腿骨内側骨折の1例

県立日南病院整形外科 ○中島 雅典 樋口 理
梅田 幸三郎

B) 脊椎, その他 (15:00~15:50) 座長 谷脇 功一

7. 側彎症に対する Hanging Moiré の問題点について

宮崎医大整形外科 ○帖佐 悦男 福田 健二
川野 桂一郎 田島 直也

8. 高令者 Myelopathy の治療の問題点

前原病院整形外科 ○前原 東洋 吉永 一春
福田 俊郎 前原 東作

9. 整形外科手術に対するセルセーバー (cell saver) の経験

宮崎医大整形外科 ○森田 信二 田島 直也
川野 桂一郎 松本 宏一

10. 低肺機能者のための車椅子

宮崎市 ○岡田 光司
国立療養所宮崎病院 中村 良昭 戸田 勝

11. Microgeodic disease の 2 症例

宮崎医大整形外科 ○松本 宏一 木村 千似
長鶴 義隆 山口 一郎
福田 健二

—— 休 憩 (10分) ——

C) 関節炎など (16:00~17:00) 座長 山田 文夫

12. 小児の良性多発性関節炎について

獅子目整形外科 ○獅子目 賢一郎

13. 変形性膝関節症に対する高位脛骨々切術の経験

潤和会記念病院 ○大野 和男 横山 司

14. 重症糖尿病に合併した化膿性関節炎の 2 例

県立宮崎病院整形外科 ○中間 秀雄

15. 股関節固定術後の満足度の低い症例について

県立延岡病院整形外科 ○木屋 博昭 永田 高見
谷脇 功一 弓削 孝雄
酒井 健 菊田 勇
内賀島 英明

16. 腎性骨異栄養症のX線所見

永吉整形外科

○岩切 清文 永吉 洋次

17. Solitary bone cystの2例——開窓多穿刺法による
治療経験

宮崎医大整形外科

○田中 正一 武内 晴明
中村 誠司 出口 義宏

Ⅲ. 特別講演 (17:00~18:00) 座長 木村千仞

「駆血帯のSafe Timeについて」

札幌医科大学整形外科

中原正雄 助教授

Ⅳ. 閉 会

Ⅴ. 懇親忘年会 (18:00~) 3F会議室にて

第 10 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日 : 昭和 60 年 6 月 22 日 (土)

14:00 開会

会 場 : 宮崎県医師会館 4 F 研修室

Tel. 0985-22-5118

事務局 : 宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200

Tel 0985-85-1510 (代)

内線 2220

直通 0985-85-0986

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会 費 等：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円 研修会受講料 500円 懇親会費 2000円

2. 今年度、年会費未納の方は受付で納入お願いします。

—— 口演者へのお知らせ ——

1 口 演 時 間：1題6分と5分、討論2分程度とします。

(演題*印 5分)

2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までに
スライドを受付にお出し下さい。

3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿用
紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

—— 世話人会のお知らせ ——

13:30～14:00

1F会議室

—— 教育研修講演について ——

特別講演「関節鏡視下手術について」

東京通信病院整形外科部長

池 内 宏 先生

上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定され
ています。

—— 懇親会のお知らせ ——

講演終了後、3F会議室で懇親会を催しますので、多数御参
加下さい。

I. 開 会 (14:00)

II. 一般演題 (14:00 ~ 15:50)

A) 脊椎 (14:00 ~ 14:39) 座 長 前 原 東 洋

- ※ 1 馬尾神経腫瘍と思われた遊走ヘルニアの1例
前原病院 ○前原 東洋 吉永 一春
前原 東作
2. 側彎症の hanging EMG Preliminary report
宮崎医大整形外科 ○出口 義宏 川越 正一
川野 桂一郎 田島 直也
3. Love 法後の再手術例の検討
宮崎医大整形外科 ○田代 宏一 税所 幸一郎
川野 桂一郎 田島 直也
- ※ 4. アテトーゼ型脳性麻痺に合併した頸椎症の一手術例
宮崎医大整形外科 ○川越 正一 出口 義宏
田代 宏一 川野 桂一郎
田島 直也
- 5 腰椎々間板ヘルニアの再手術例
多田病院 ○後藤 一成

B) 外傷など (14:39 ~ 15:11) 座 長 谷 脇 功 一

6. 最近5年間における骨盤外傷について
県立宮崎病院 ○中間 秀雄
7. 大腿骨頸部骨折に対する Compression Hip Screw
法の経験
潤和会記念病院 ○大野 和男 横山 司
- ※ 8. 腰椎水平骨折 (Chance 骨折) の1例
県立延岡病院 ○内賀島 英明
済生会日向病院 脇山 尚登
9. 当院における手指損傷患者の近況
県立宮崎病院 ○高妻 雅和 阿久根 広宣
小林 邦雄 徳久 俊雄

C) 関節疾患, その他 (15:11 ~ 15:50)

座長 小林 邦雄

10. 0.5% プピバカインによる脊椎麻酔の経験

前原病院 ○吉永 一春 前原 東洋
前原 東作

11. 股関節症に対する大腿骨骨切り術の治療経験

宮崎医大整形外科 ○松本 宏一 長鶴 義隆
三浦 広典 三股 恒夫
帖佐 悦男 森田 信二
黒木 俊政 木村 千仞

※ 12. 脊髄空洞症により右肘シャルコー関節を呈した1例

県立延岡病院 ○菊田 勇 永田 高見
谷脇 功一 木屋 博昭
弓削 孝雄 酒井 健
内賀島 英明

※ 13. 活性型ビタミンDが奏効した腎性くる病の1例

宮崎市郡医師会病院 ○大江 幸政

14. Peritendinitis calcareaと思われた3症例

宮崎医大整形外科 ○平川 俊一 木村 千仞
山口 一郎 黒木 俊政
河野整形外科 河野 雅行
高千穂町立病院 中村 誠司

—— 10 分 休 憩 ——

III. 教育研修講演 (16:00 ~ 17:00) 座長 木村 千仞

「関節鏡視下手術について」

東京逓信病院整形外科部長

池 内 宏 先生

IV. 閉 会

V. 懇親会 (17:00 ~) 於 3 F 会議室

第 11 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日：昭和 60 年 11 月 16 日 (土)
14:00 開会

会 場：宮崎県医師会館 4 F 研修室
Tel. 22-5118

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL. 0985-85-1510 (代) 内線 2220

" - " - 0986 (直通)

——参加者へのお知らせ——

1. 会 費 等：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円 研修会受講料 500円 懇親会費 2000円

2. 今年度年会費未納の方は受付で納入をお願いします。

——口演者へのお知らせ——

1. 口 演 時 間：1題6分、討論2分程度とします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

——世話人会のお知らせ——

13:30～14:00 1F会議室

——教育研修講演について——

「軽視しやすい手の新鮮外傷と手の外科治療の新しい試み」

琉球大学医学部整形外科 茨木邦夫教授

上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されています。

——懇親会のお知らせ——

講演終了後、3F会議室で懇親会を催しますので、多数御参加下さい。

I. 開 会 (14;00)

II. 一般演題 (14;05~15;40)

A. 脊椎 (14;05~14;30)

座長 谷 脇 功 一

1 Lumbar radiculopathy に対する H 波 について

宮崎医大整形外科

○黒木 俊政

出口 義宏

田島 直也

川野 桂一郎

三浦 広典

脇山 尚登

2. 腰部脊柱管狭窄症におけるサーモグラフィー

宮崎医大整形外科

○三浦 広典

田島 直也

川野 桂一郎

脇山 尚登

黒木 俊政

3. 早期に観血的治療を施行した頸髄損傷の一経験

県立宮崎病院

○松本 直之

B. 腫瘍ほか(14;30~15;05)

座長 小 林 邦 雄

4 肘頭に発生した Osteoid osteoma と思われた 1 例

宮崎医大整形外科

○帖佐 悦男

木村 千仞

戸田 勝

平川 俊一

黒木 俊政

国立宮崎療養所

山口 一郎

5. NMR-CT 画像診断による軟部腫瘍の経験

宮崎医大整形外科

○中村 誠司

武内 晴明

川越 正一

木村 千仞

宮崎医大皮膚科

成田 博実

立山 直

6. 教室における最近5年間の脊椎・脊髄腫瘍の検討

宮崎医大整形外科	○脇山 尚登	田島 直也
	川野 桂一郎	三浦 広典
	黒木 俊政	木村 千仞

7. 先天性下腿偽関節に対する電気刺激療法の一例

国立宮崎療養所	○山口 一郎		
宮崎医大整形外科	木村 千仞	平川 俊一	
	出口 義宏	黒木 俊政	

C. 外傷 (15;05~15;40) 座長 獅志目 賢一郎

8. 骨頭壊死をきたした大腿骨頸部骨折の2例

県立延岡病院	○木屋 博昭	永田 高見
	谷脇 功一	弓削 孝雄
	酒井 健	菊田 勇
	内賀島英明	

9. 腓骨筋腱脱臼について

県立延岡病院	○弓削 孝雄	永田 高見
	谷脇 功一	木屋 博昭
	酒井 健	菊田 勇
	内賀島英明	

10. 上腕骨近位端骨折に対する観血的治療の小経験

県立日南病院	○阿久根広宣	檜原 知啓
	白浜 正博	金江 浩

11. 右拇指完全引き抜き損傷の治療例

山田整形外科	○山田 文夫
--------	--------

—— 10分 休憩 ——

III. 教育研修講演 (15;50~17;00) 座長 木村千仞

「軽視しやすい手の新鮮外傷と手の外科治療の新しい試み」

琉球大学医学部整形外科 茨木邦夫 教授

IV. 閉 会

V. 懇親会 (17;00~) 於 3F会議室

第 12 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日：昭和 61 年 6 月 14 日（土）
14：00 開会

会 場：宮崎県医師会館 4 F 研修室
Tel. 22 - 5118

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889 - 16

宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL 0985 - 85 - 1510（代）内線 2220

0985 - 85 - 0986（直通）

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会 費 等：会場受付で申し受けます。
会場費 1000円 研修会受講料 500円
- 2 今年度年会費未納の方は受付で納入をお願いします。

—— 口演者へのお知らせ ——

- 1 口 演 時 間：1題6分、討論2分程度とします。
- 2 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までに
スライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿
用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

—— 世話人会のお知らせ ——

13:30～14:00 1F会議室

—— 教育研修講演について ——

「悪性骨腫瘍の治療について」

熊本大学医学部整形外科 北川 敏夫 教授

上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定
されています。

I. 開 会 (14:00)

II. 一般演題 (14:05 ~ 15:50)

A. 外傷 (14:05 ~ 14:40) 座長 尾田 博

1. 小児大腿骨頸部骨折の治療について

宮崎医大整形外科	○三浦広典	長鶴義隆
	平川俊一	出口義宏
	帖佐悦男	

2. 骨折を伴わない遠位橈尺関節脱臼の一症例

済生会日向病院	○森田信二	木屋博昭
---------	-------	------

3. 十年前の交通外傷による臀部膿疱の 1 例

県立日南病院	○檜原知啓	白浜正浩
--------	-------	------

4. 当院における関節鏡視下手術症例

前原病院	○吉永一春	前原東洋
	福田稔朗	前原東作

B. 炎症、腫瘍 (14:40 ~ 15:15) 座長 谷 脇 功 一

5. 結核性腱鞘炎の一例

永吉整形外科医院	○永吉洋次	岩切清文
----------	-------	------

6. 当科における過去 5 年間の骨関節結核

県立宮崎病院	○佐本信彦	
--------	-------	--

7. 脛骨に発生した periosteal malignant hemangio-endothelioma と考えられた一例

宮崎医大整形外科	○税所幸一郎	武内晴明
	脇山尚登	木村千仞

8. 当院での高気圧酸素療法について

潤和会記念病院	○大野和男	古森元章
	渡辺正明	

C. 脊椎, その他 (15:15~15:50) 座長 小林 邦 雄

9. 骨傷のない頸髄損傷について

県立延岡病院	○内賀嶋英明	永田高見
	谷脇功一	木屋博昭
	弓削孝雄	酒井 健

10. 最近経験した脊椎手術例の検討と反省

前原病院	○前原東洋	吉永一春
	福田稔朗	前原東作

11. 肩関節挙上運動再建を行つた1例

宮崎医大整形外科	○戸田 勝	長鶴義隆
	帖佐悦男	
国立療養所宮崎病院	山口一郎	
江南病院	上塚 満	

12. 当科における6年間の骨移植症例について

県立宮崎病院	○徳久俊雄	小林邦雄
	高妻雅和	谷村俊次
	岩切清文	

———— 10 分 休 憩 ————

III. 教育研修講演 (16:00~17:00) 座長 木村千仞

「悪性骨腫瘍の治療について」

熊本大学医学部整形外科 北川 敏 夫 教授

IV. 閉 会

第 13 回

宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会

プ ロ グ ラ ム

期 日：昭和62年1月31日(土)

14:00 開会

会 場：宮崎観光ホテル(8F 尾鈴の間)

Tel. 0985-27-1212

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-16

宮崎郡清武町大字木原5200

TEL. 0985-85-1510(代)内線2220

0985-85-0986(直通)

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会費等：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円

研修会受講料（1単位当り） 500円

2. 今年度年会費未納の方は受付で納入をお願いします。

—— 口演者へのお知らせ ——

1. 口演時間：1題6分、討論2分程度とします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

—— 世話人会のお知らせ ——

13:30～14:00 1F 綾の間

—— 教育研修講演について ——

1. 「人工肘関節の長期成績」

国立相模原病院整形外科 工藤 洋 医長

2. 「リウマチ外科における2～3の問題点」

宮崎医科大学整形外科 木村千帆 教授

上記講演は日本整形外科学会教育研修会（2単位）に認定されています。

開 会 (14:00)

一般演題-I (14:05~14:40) 座長 谷 脇 功 一

1. 上肢 Entrapment Neuropathy の小経験

山田整形外科

○山田文夫

2. 尺骨神経麻痺をきたした神経内ガングリオンの1例

宮崎医大整形外科

○松本宏一

山口一郎

中村誠司

3. Parrot の仮性麻痺の一症例

県立宮崎病院整形外科

○岩城 彰

谷村俊次

小林邦雄

徳久俊雄

高妻雅和

森 英治

4. スポーツ障害の数例

永吉整形外科

○永吉洋次

岩切清文

一般演題-II (14:40~15:15)

座長 小 林 邦 雄

5. Cervical myelopathy に対する頸椎椎管拡大術

宮崎医大整形外科

○津曲孝康

田島直也

川野桂一郎

田代宏一

松本宏一

6. 悪性脊椎腫瘍に対する segmental spinal instrumentation

(Luque) の小経験

県立延岡病院整形外科

○内賀嶋英明

谷脇功一

永田高見

木屋博明

弓削孝雄

酒井 健

中間秀雄

7. 大腿骨頸部骨折、エンダー釘の症例について

宮崎市郡医師会病院 ○大江幸政

8. 肋骨に発生せる Chondroblastic Osteosarcoma の 1 例

県立延岡病院整形外科 ○谷脇功一 永田高見
木屋博明 弓削孝雄
酒井 健 内賀嶋英明
中間秀雄

一般演題—Ⅲ (15:15~16:15) 座長 甲斐 佐

9. 老人の化腫性膝関節炎の小経験

獅子目整形外科 ○獅子目賢一郎

10. セラチアによる新生児急性化膿性股関節炎の 1 例

県立延岡病院整形外科 ○中間秀雄 永田高見
谷脇功一 木屋博明
弓削孝雄 酒井 健
内賀嶋英明

11. 仙骨慢性骨髓炎の瘻孔部に発生した上皮内癌の 1 例

宮崎済生会日向病院 ○森田信二
宮崎県立延岡病院 木屋博明 弓削孝雄

12. 伸展拘縮膝に対する関節授動術の 1 例

宮崎医大整形外科 ○松田寿義 武内晴明
木村千仞 税所幸一郎
脇山尚登

13. Rapidly destructive coxarthrosis (慢性関節リウマチを含む) における人工関節置換術の症例

前原病院

○前原東洋

吉永一春

福田稔朗

前原東作

—— 15分 休憩 ——

教育研修講演 (16:30~18:30)

座長 木村千仞

1) 「人工肘関節の長期成績」

国立相模原病院整形外科

工藤

洋 医長

座長 田島直也

2) 「リウマチ外科における2~3の問題点」

宮崎医科大学整形外科

木村

千仞 教授

閉 会

第 14 回

宮崎整形外科懇話会

プログラム

期 日：昭和 62 年 6 月 20 日（土）

14:00 開会

会 場：宮崎県医師会館 4F 研修室

TEL. 0985-22-5118

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889-16

宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL. 0985-85-1510（代）内線 2220

0985-85-0986（直通）

————— 参加者へのお知らせ —————

1. 会費等：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円

研修会受講料（1単位当り） 500円

2. 今年度年会費未納の方は受付で納入をお願いします。

————— 口演者へのお知らせ —————

1. 口演時間：1題6分，討論3分程度とします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

————— 世話人会のお知らせ —————

13:30～14:00 1F小会議室

————— 教育研修講演について —————

「膝のスポーツ障害 —— 靭帯，半月損傷を中心として ——」

筑波大学医学部整形外科 福林 徹 先生

上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されています。

開 会 (14:00)

一般演題—I (14:05~14:40) 座長 徳久俊雄

1. 両膝離断性骨軟骨炎の治療経験

宮崎医大整形外科 ○津曲孝康 長鶴義隆
三浦広典

2. 上腕骨顆上骨折を伴った前腕骨折の1例

済生会日向病院 ○川越正一 酒井 健

3. 同一部位に再骨折をきたした Albright 症候群

県立宮崎病院整形外科 ○岩城 彰 小林邦雄
徳久俊雄 高妻雅和
谷村俊次 森 英治
宮元整形外科 宮元修一

4. エンダー釘手術法について

宮崎市郡医師会病院 ○大江幸政

一般演題—II (14:40~15:15) 座長 武内晴明

1. タナ障害により膝嵌頓状態をきたした1例

宮崎医大整形外科 ○谷口博信 武内晴明
木村千仞 税所幸一郎
脇山尚登 麻生邦典

2. RA 金治療における Nitritoid 反応の1症例

宮崎医大整形外科 ○脇山尚登 木村千仞
武内晴明 税所幸一郎
谷口博信 麻生邦典

3. Polymyalgia rheumatica として経過観察中に急変して死亡した1例について

獅子目整形外科 ○獅子目賢一郎

4. 軟部悪性腫瘍が疑われた異物反応性肉芽腫の1例

宮崎医大整形外科 ○中村誠司 木村千仞
山口一郎 松本宏一
出口義宏

一般演題—Ⅲ (15:15~15:50) 座長 後藤一成

1. Manipulation により増悪したと思われる若年者腰部椎間板ヘルニアの1例

宮崎医大整形外科 ○立山洋司 田島直也
川野桂一郎 松本宏一
田代宏一

2. 硬膜内に脱出した腰部椎間板ヘルニアの1例

県立延岡病院整形外科 ○木屋博昭

3. 側彎症に対する保存療法

——特に運動療法, 装具療法等の併用について——

宮崎医大整形外科 ○出口義宏 田島直也
川野桂一郎 松本宏一
田代宏一 立山洋司

4. 骨粗鬆症に伴う腰椎圧迫骨折による不全麻痺の3例

前原病院整形外科 ○前原東洋 吉永一春
前原東作
宮崎医大整形外科 田島直也 川野桂一郎

—— 10分 休憩 ——

教育研修講演（16:00～17:00） 座長 木村千仞

「膝のスポーツ障害

—— 靭帯，半月損傷を中心として ——」

筑波大学医学部整形外科 福林 徹 先生

閉 会

第 15 回
宮 崎 整 形 外 科 懇 話 会
プ ロ グ ラ ム

期 日：昭和 63 年 1 月 9 日（土）

14:00 開会

会 場：みやざき会館（2F フェニックスの間）

TEL 0985-29-3711

事務局：宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889-16

宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL 0985-85-1510（代）内線 2220

0985-85-0986（直通）

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 会費等：会場受付で申し受けます。

会場費 1000円

研修会受講料（1単位当り）500円

2. 今年度年会費未納の方は受付で納入お願いします。

—— 口演者へのお知らせ ——

1. 口演時間：1題6分，討論2分程度とします。

2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までに
スライドを受付にお出し下さい。

3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿
用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

—— 世話人会のお知らせ ——

13:30～14:00 2F はまゆうの間

—— 教育研修講演について ——

「我教室における最近の興味ある症例から——骨腫瘍を中心として——」

長崎大学医学部整形外科 鈴木良平 教授

上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されています。

—— 懇親会 ——

懇親会は講演終了後、3F くすすぎの間にて行います。（無料）

開 会 (14:00)

一般演題—I (14:05~14:45) 座長 長 鶴 義 隆

1. 大腿骨頸部偽関節の治療経験

宮崎医大整形外科 ○三股恒夫 長鶴義隆
戸田 勝 平川俊一
鳥取部光司

2. 診断が困難であつた大腿骨頸部骨折

宮崎江南病院整形外科 ○上塚 満 立山洋司

3. Battered Child Synd. と思われた一症例

県立宮崎病院整形外科 ○斎藤太一

4. Ollier's disease による脚長不同に対する脚延長術の経験

宮崎医大整形外科 ○黒田 宏 武内晴明
木村千仞 脇山尚登
植村貞仁 久保紳一郎

5. 膝関節鏡診断と鏡視下手術の経験

永吉整形外科 ○永吉洋次 岩切清文

一般演題—II (14:45~15:20) 座長 小 林 邦 雄

6. 先天性第4—5中手骨癒合症の1例

宮崎医大整形外科 ○森田信二 木村千仞
戸田 勝 山口一郎
中村誠司 黒木俊政

7. 示指屈筋腱ひき抜き損傷の1例

宮崎江南病院整形外科 ○立山洋司 上塚 満

8. グロームス腫瘍4例の検討

宮崎医大整形外科 ○戸田 勝 山口一郎
森田信二 木村千仞

9. 外傷性手指靭帯損傷

山田整形外科 ○山田文夫

———— 10分 休 憩 ————

一般演題—Ⅲ (15:30~16:05) 座長 谷 脇 功 —

10. 急性に Cauda equina syndrome を呈した腰部椎間板ヘルニアの 2 例

宮崎医大整形外科

○田辺龍樹

田島直也

川野桂一郎

松本宏一

田代宏一

11. 脊髄腫瘍における MRI の検討

宮崎医大整形外科

○松田寿義

田島直也

川野桂一郎

松本宏一

田代宏一

田辺龍樹

12. 小児の頸椎椎間板石灰化症の 1 例

県立延岡病院整形外科

○白石 稔

永田高見

谷脇功一

木屋博昭

弓削孝雄

13. 四肢麻痺をきたした急性リンパ性白血病の 1 例

県立延岡病院整形外科

○谷脇功一

永田高見

木屋博昭

弓削孝雄

白石 稔

一般演題—Ⅳ (16:05~16:45) 座長 大 島 康 宏

14. 慢性骨髓炎を疑わせた診断困難な 1 例

宮崎医大整形外科

○植村貞仁

武内晴明

木村千仞

脇山尚登

黒田 宏

久保紳一郎

15. ガス壊疽治療の小経験

県立宮崎病院整形外科

○奥山清隆

16. 臀部褥創の 2 例

国立都城病院整形外科

○中村誠司

17. 色素性絨毛結節性滑膜炎の 1 例

宮崎医大整形外科

○久保紳一郎

武内晴明

木村千仞

脇山尚登

植村貞仁

黒田 宏

18. 化膿性膝関節炎に対する持続灌流の経験

宮崎市郡医師会病院整形外科 ○麻生邦典 桑原 茂

—— 15分 休憩 ——

教育研修講演 (17:00~18:00) 座長 木村 千 仞

「我教室における最近の興味ある症例から

—— 骨腫瘍を中心として ——

長崎大学医学部整形外科 鈴木 良 平 教授

閉 会

●会館までの道順



第 16 回

宮崎整形外科懇話会
プログラム

期 日 昭和 63 年 6 月 18 日 (土)

14 : 00 開会

会 場 宮崎県医師会館 4 F 研修室

TEL 0985—22—5118

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889 — 16

宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL 0985—85—1510 (代)内線 2220

0985—85—0986 (直通)

参加者へのお知らせ

1. 会費等：会場受付で申し受けます。
会場費 1,000円 研修会受講料 500円
2. 今年度年会費未納の方は受付で納入をお願いします。

口演者へのお知らせ

1. 口演時間：1題6分、討論2分程度とします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

世話人会のお知らせ

13：30～14：00 1F 会議室

教育研修講演について

教育講演：「整形外科領域におけるマイクロサージャリーを応用した組織移植について」

福井医科大学整形外科 吉村光生 助教授

- 上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されています。

【開 会】 14:00

一般演題—I (14:05~14:55) 座長 小林 邦 雄

1. 再び Polymyalgia rheumatica について
獅子目整形外科 ○獅子目賢一郎
2. 整形外科領域に於けるペインクリニック的アプローチ
国立都城病院 ○黒木 俊政 中村 誠司
宮崎医科大学整形外科 田島 直也
押川整形外科 押川紘一郎
3. 外傷性腋窩神経単独麻痺の一例
県立日南病院整形外科 ○佐藤 直人
4. 股関節症に対する大腿骨骨切り術の短期成績
宮崎医科大学整形外科 ○平川 俊一 長鶴 義隆
三股 恒夫 帖佐 悦男
田辺 龍樹
5. RA股 (Protrusio Acetabli) への Fibrin 接着剤を使用した
臼蓋底骨移植併用人工股関節置換術の経験
宮崎市郡医師会病院 ○桑原 茂 麻生 邦典
6. 外傷後 MP 関節 locking を来した一例
宮崎医科大学整形外科 ○山口 一郎 戸田 勝
松田 寿義
押川整形外科 押川紘一郎

一般演題—II (14:55~15:35) 座長 武 内 晴 明

7. 膝蓋大腿関節障害に対する脛骨粗面移動術の経験
潤和会記念病院整形外科 ○三尾母英幸 大野 和男
塩月 寿子

8. 膝関節 tangential osteochondral fracture の 2 例
 永吉整形外科 ○永吉 洋次 岩切清文
9. 当院における人工膝関節置換術の経験
 潤和会記念病院整形外科 ○大野 和男 森 俊二
 三尾母英幸
10. 人工膝関節山本式 Mark III の使用経験
 宮崎医科大学整形外科 ○鳥取部光司 武内 晴明
 脇山 尚登 川越 正一
 木村 千仞
 国立宮崎病院整形外科 税所幸一郎
 宮崎市郡医師会病院整形外科 桑原 茂 麻生 邦典
11. スポーツにより内側腓腹筋変性を来した一例
 宮崎医科大学整形外科 ○川越 正一 武内 晴明
 脇山 尚登 鳥取部光司
 木村 千仞
 宮崎医科大学第 3 内科 山村 善教

10 分 休 憩

一般演題一Ⅲ (15:45~16:35) 座長 谷 脇 功 一

12. 疲労性多発肋骨骨折の一例
 国立宮崎病院整形外科 ○税所幸一郎
 国立宮崎病院放射線科 村井 伸子
 国立療養所宮崎東病院放射線科 吉村 広
 宮崎医科大学整形外科 木村 千仞 武内 晴明
 脇山 尚登 川越 正一
 鳥取部光司 桑原 茂
 麻生 邦典

13. 診断のつかない多発性骨硬化をきたした症例

県立延岡病院整形外科	○木屋 博昭	永田 高見
	谷脇 功一	弓削 孝雄
	白石 稔	

14. 陳旧性の頸椎脱臼に対する治療経験

県立延岡病院整形外科	○谷脇 功一	永田 高見
	木屋 博昭	弓削 孝雄
	白石 稔	

15. 糖尿病を合併し難治した人咬症の一症例

県立宮崎病院整形外科	○中島 勝也
------------	--------

16. 臀部に発生した hamartoma の一例

宮崎医科大学整形外科	○脇山 尚登	武内 晴明
	川越 正一	鳥取部光司
	木村 千仞	

17. 教室における最近の脊椎カリエスについて

宮崎医科大学整形外科	○久保紳一郎	田島 直也
	川野桂一郎	松本 宏一
	田代 宏一	

10 分 休 憩

教育研修講演 (16:45~17:45)

座長 木村 千仞

「整形外科領域におけるマイクロサージャリーを応用した組織移植
について」

福井医科大学整形外科	吉村 光生 助教授
------------	-----------

【 閉 会 】

痛み、貼れ晴れ!

カトレップは、強力な鎮痛・抗炎症剤インドメタシンを有効成分とする、新しいタイプのパップ剤です。

Catlep

粘着・伸縮性

経皮鎮痛消炎剤

① カトレップ® インドメタシン パップ

- 組成 1枚(片体19.2g)中インドメタシン96mgを含有する。
- 効能・効果
下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
筋肉痛、肩関節周囲炎、外傷後の腫脹・疼痛、腱・腱鞘炎、
腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、変形性関節症
- 用法・用量 1日2回患部に貼付する。

使用上の注意

1. 一般の注意

- (1) 消炎鎮痛剤による治療は原因療法でなく対症療法であることに留意すること。
- (2) 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に投与すること。
- (3) 慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には薬物療法以外の療法

- も考慮すること。また患者の状態を十分観察し、副作用の発現に留意すること。
2. 次の場合には使用しないこと。
本剤に対して過敏症の既往歴のある患者
3. 副作用
皮膚：ときに痒痒、発赤、発疹、ヒリヒリ感及び腫脹があらわれることがある。これらの症状が強い場合は使用を中止すること。
4. 妊婦への投与
妊婦に対する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人に対しては治療上の有益性が危険性

を上まわると判断される場合のみ投与すること。

5. 小児への投与
小児に対する安全性は確立していない。
6. 適用上の注意
(1) 損傷皮膚及び粘膜に使用しないこと。
(2) 遊泳又は発疹の部位に使用しないこと。
(3) 必要に応じ、テープ等で固定することが望ましい。

●取扱上の注意等については、添付文書をご一読ください。

1 すぐれた鎮痛・抗炎症作用

疼痛、腫脹、局所熱感に高い改善率を示します。

2 強力粘着・伸縮性

粘着力が強く、伸縮性なので、患部にフィットして、すぐれた臨床効果を示します。

3 低刺激性

皮膚刺激性が少なく、寒冷時でも使用しやすいパップ剤です。

4 無臭タイプ

無臭性です。目立ちません。

発売元 住友製薬株式会社
(資料請求先) 〒541 大阪市東区道修町2丁目40

製造元 帝國製薬株式会社
〒769-26 香川県大川郡大内町三本松567

第 17 回

宮崎整形外科懇話会
プログラム

期 日 昭和 63 年 11 月 27 日 (日)

14 : 00 開会

会 場 宮 崎 市 宮 崎 会 館

(宮崎市瀬頭 2 丁目 1—10

TEL 0985—29—3711)

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889 — 16

宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL 0985—85—1510 (代)内線 2220

0985—85—0986 (直通)

参加者へのお知らせ

1. 会費等：会場受付で申し受けます。
研修会受講料 500円
2. 今年度年会費未納の方は受付で納入をお願いします。

口演者へのお知らせ

1. 口演時間：1題6分、討論2分程度とします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

世話人会のお知らせ

13：30～14：00 同館内 高千穂の間

特別講演について

特別講演：「癩と整形外科」

宮崎医科大学名誉教授

玉井達二先生

- 上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されています。
- 懇親会：懇話会終了後17：30から懇親会を開催します。

【開 会】 14:00

一般演題—I (14:00~14:40) 座長 谷 脇 功 一

1. 人工膝関節置換術術後療法における

CPM(Continuous Passive Motion)の使用経験

宮崎医科大学整形外科 ○作 良彦 木村 千仞
桑原 茂 税所幸一郎
木下 泰行 金井 純次
麻生 邦典

2. 仙骨部Chordomaの1治験例

宮崎医科大学整形外科 ○黒木 隆男 田島 直也
松本 宏一 田代 宏一
黒木 俊政

3. Tethered cord syndromeの1例

宮崎医科大学整形外科 ○浪平 辰州 田島 直也
山口 一郎 松本 宏一
田代 宏一 黒木 俊政

4. ブラウンセカード症候群をきたした頸部椎間板ヘルニアの1例

県立延岡病院整形外科 ○谷脇 功一 永田 高見
木屋 博昭 弓削 孝雄
平野 哲也

5. 悪性関節リウマチ(MRA)に対するMTX療法の経験

宮崎医科大学整形外科 ○木下 泰行 木村 千仞
桑原 茂 税所幸一郎
金井 純次 麻生 邦典
作 良彦

一般演題—Ⅱ (14:40~15:20) 座長 桑原 茂

6. Kienbock病に対する橈骨楔状骨切り術の経験

宮崎医科大学整形外科	○中村 誠司	戸田 勝
	柳園賜一郎	松本 宏一
	山口 一郎	
押川整形外科	押川紘一郎	
河野整形外科	河野 雅行	

7. 頑固な疼痛をきたした正中神経手掌皮枝損傷の1例

谷村病院	○山口 一郎	市原 正彬
宮崎医科大学整形外科	戸田 勝	中村 誠司
	柳園賜一郎	

8. 神経麻痺を合併した上腕骨顆上骨折

宮崎医科大学整形外科	○柳園賜一郎	戸田 勝
	中村 誠司	山口 一郎

9. 外傷性腓骨筋腱脱臼の2例

永吉整形外科	○永吉 洋次	岩切 清文
甲斐整形外科	甲斐 佐	

10. 石灰沈着性腱炎の1例

江南病院	○久保紳一郎	上塚 満
	帖佐 悦男	

一般演題—Ⅲ (15:20~15:55) 座長 小林 邦雄

11. 変形性股関節症に対するOMNIFIT型人工骨頭置換術の検討

整形外科前原病院	藤井 晴朗	前原 東洋
----------	-------	-------

12. ペルテス病に対する我々の治療方針

宮崎医科大学整形外科	○森田 信二	長鶴 義隆
	平川 俊一	柏木 輝行

13. 先天性膝関節脱臼の3例

県立宮崎病院整形外科

横山 良平

14. 足関節損傷修復の小経験

山田整形外科

山田 文夫

5 分 休 憩

特別講演 (16:00~17:00)

座長 木村 千 仍

「癩と整形外科」

宮崎医科大学名誉教授

玉井 達 二 先生

【 閉 会 】

痛み、貼れ晴れ!

カトレップは、強力な鎮痛・抗炎症剤インドメタシンを有効成分とする、新しいタイプの貼付剤です。

粘着・伸縮性

Catlep

経皮鎮痛消炎剤

⑩ **カトレップ**[®]
インドメタシン 貼付剤 薬価基準収載

- 組成 1枚(背体19.2g)中インドメタシン96mgを含有する。
- 効能・効果
下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
筋肉痛、肩関節周囲炎、外傷後の腫脹・疼痛、腱・腱鞘炎、
腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、変形性関節症
- 用法・用量 1日2回患部に貼付する。

使用上の注意

1. 一般的注意
 - (1)消炎鎮痛剤による治療は原因療法でなく対症療法であることに留意すること。
 - (2)皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗感染剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に投与すること。
 - (3)慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には薬物療法以外の療法

- も考慮すること。また患者の状態を十分観察し、副作用の発現に留意すること。
- 2. 次の場合には使用しないこと。
本剤に対して過敏症の既往歴のある患者
- 3. 副作用
皮膚：ときに痒痒、発赤、発疹、ヒリヒリ感及び腫脹があらわれることがある。これらの症状が強い場合は使用を中止すること。
- 4. 妊婦への投与
妊婦に対する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人に対しては治療上の有益性が危険性

- を上まわると判断される場合にのみ投与すること。
- 5. 小児への投与
小児に対する安全性は確立していない。
- 6. 適用上の注意
(1)損傷皮膚及び粘膜に使用しないこと。
(2)湿疹又は発疹の部位に使用しないこと。
(3)必要に応じ、テープ等で保定することが望ましい。

●取扱い上の注意等については、添付文書をご一読ください。

1 すぐれた鎮痛・抗炎症作用
疼痛、腫脹、局所熱感に高い改善率を示します。

2 強力粘着・伸縮性
粘着力が強く、伸縮性なので、患部にフィットして、すぐれた臨床効果を示します。

3 低刺激性
皮膚刺激性が少なく、寒冷時でも使用しやすい貼付剤です。

4 無臭タイプ
無臭性です。目立ちません。

発売元 **住友製薬株式会社**
(資料請求先) 〒541 大阪市東区道修町2丁目40

製造元 **帝國製薬株式会社**
〒769-26 香川県大川郡大内町三本松567

第 18 回

宮崎整形外科懇話会
プログラム

期 日 平成元年6月3日(土)

13:30 開会

会 場 宮 崎 県 医 師 会 館

(宮崎市和知川原1-101

TEL 0985-22-5118)

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-16

宮崎郡清武町大字木原5200

TEL 0985-85-1510(代)内線2220

0985-85-0986(直通)

参加者へのお知らせ

1. 会費等：会場受付で申し受けます。
研修会受講料 500円
2. 今年度年会費未納の方は受付で納入をお願いします。

口演者へのお知らせ

1. 口演時間：1題6分、討論3分程度とします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

世話人会のお知らせ

13:00～13:30 1F 小会議室

特別講演について

特別講演：「肩腱板損傷の診断と治療」

昭和大学藤ヶ丘病院整形外科教授

山本龍二先生

●上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されています。

【開 会】 13:30

一般演題 - I

座長 武内 晴明

1. 小児Galeazzi骨折の2例
永吉整形外科 ○永吉 洋次 岩切 清文
2. 橈骨遠位端骨折変形治癒に対する矯正骨切り術の経験
宮崎医科大学整形外科 ○黒木 隆男 中村 誠司
戸田 勝 山口 一郎
田島 直也 木村 千仞
3. Double crush syndrome を呈した胸郭出口症候群について
宮崎医科大学整形外科 ○中村 誠司 黒木 隆男
戸田 勝 山口 一郎
田島 直也 木村 千仞
4. 両側肩甲棘音症の一治験例
県立延岡病院整形外科 ○谷脇 功一 永田 高見
木屋 博昭 弓削 孝雄
平野 哲也
5. 鎖骨ついで橈骨に発生した孤立性骨髓腫と思われる1症例
県立延岡病院整形外科 ○平野 哲也 永田 高見
谷脇 功一 木屋 博昭
弓削 孝雄
6. 長期透析患者の手根管症候群
県立宮崎病院整形外科 ○高妻 雅和 小林 邦雄
徳久 俊雄 中島 勝也

一般演題－Ⅱ

座長 谷 脇 功 一

7. R A 膝屈曲拘縮に対する矯正法の一工夫
市民の森病院リウマチセンター ○桑原 茂
8. 難治性骨髓炎に対するPapineau (パピノ) 法の経験
椎葉村立病院整形外科 ○中間 季雄
西郷村立病院整形外科 大崎 泰
自治医科大学整形外科 阿久根広宣
9. 膝離断性骨軟骨炎に対するフィブリン糊を使用した固定の経験
宮崎医科大学整形外科 ○浪平 辰州 税所幸一郎
立山 洋司 津曲 孝康
木村 千仞
市民の森病院リウマチセンター 桑原 茂
10. 大腿骨頸部疲労骨折の1例
宮崎医科大学整形外科 ○森田 信二 長鶴 義隆
平川 俊一 麻生 邦典

一般演題－Ⅲ

座長 後 藤 一 成

11. 広範脊柱管狭窄症の1例
江南病院整形外科 ○作 良彦 上塚 満
帖佐 悦男
宮崎医科大学整形外科 田島 直也 田代 宏一
12. 大量の排膿を伴った脊椎カリエスの1例
宮崎医科大学整形外科 ○柏木 輝行 田島 直也
松本 宏一 田代 宏一
黒木 俊政 金井 純一
倉内整形外科病院 倉内 省三

13. 宮崎市郡医師会病院における高齢者骨折の治療経験
— 昭和63年5月～平成元年4月の症例について —

宮崎市郡医師会病院整形外科	○植村 貞仁	武内 晴明
公立多良木病院整形外科	鳥取部光司	
宮崎医科大学整形外科	桑原 茂	麻生 邦典

14. 辺地の第一線病院における整形外科の役割

椎葉村立病院整形外科	○中間 季雄	
西郷村立病院整形外科	大崎 泰	
自治医科大学整形外科	阿久根広宣	

15. 宮崎市郡医師会病院における最近一年間の手術症例の検討

宮崎市郡医師会病院整形外科	○武内 晴明	植村 貞仁
公立多良木病院整形外科	鳥取部光司	
宮崎医科大学整形外科	桑原 茂	麻生 邦典

15 分 間 休 憩

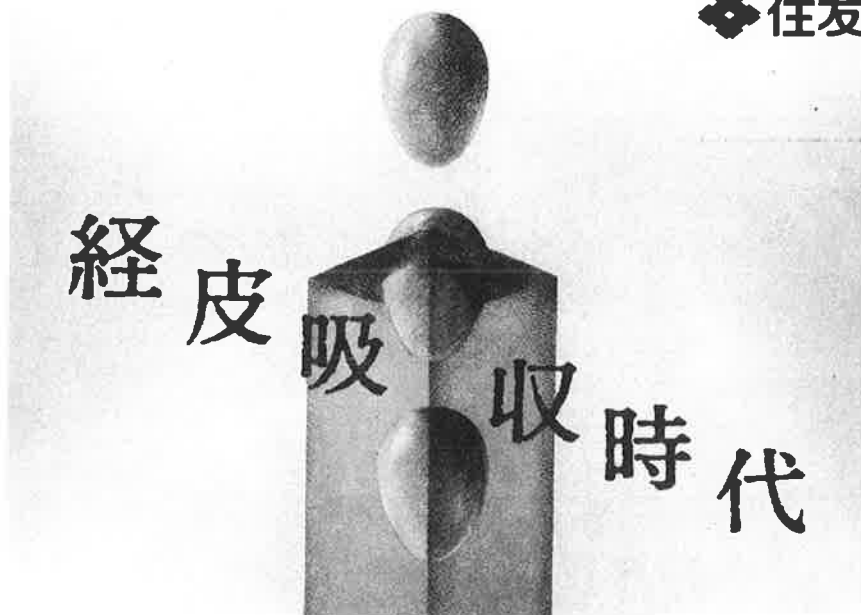
特別講演 (16:00～17:00) 座長 木村千仞

「肩腱板損傷の診断と治療」

昭和大学藤ヶ丘病院整形外科教授

山本龍二先生

【閉会】



経皮吸収時代

住友製薬の外用NSAIDシリーズ

インテバン[®] クリーム
外用液
貼付剤[®] カトレップ[®]

NSAID : nonsteroidal antiinflammatory drugs

- 一般名 インドメタシン
- 効能・効果
下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
筋肉痛、肩関節周囲炎、外傷後の腫脹・疼痛、
腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、変形性関節症
- 用法・用量
〈インテバンクリーム〉
症状により、適量を1日数回患部に塗擦する。
〈インテバン外用液〉
症状により、適量を1日数回患部に塗布する。
〈カトレップ〉
1日2回患部に貼付する。

Inteban[®] | Catlep[®]

薬価基準収載

資料請求先

住友製薬株式会社

〒541 大阪市中央区道修町2丁目2番8号

使用上の注意

1. 一般的注意(インテバンクリーム・外用液、カトレップ)
 - (1) 消炎鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。
 - (2) 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分行い慎重に投与すること。
 - (3) 慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には薬物療法以外の療法も考慮すること。また患者の状態を十分観察し、副作用の発現に留意すること。
2. 次の患者には使用しないこと
本剤に対して過敏症の既往歴のある患者
3. 副作用(インテバンクリーム・外用液)
皮膚：ときに痒痒、発赤及び発疹が、また、まれに熱感、腫脹、乾燥感及びヒリヒリ感があらわれることがある。これらの症状が強い場合は使用を中止すること。
3. 副作用(カトレップ)
皮膚：ときに痒痒、発赤、発疹、ヒリヒリ感及び腫脹があらわれることがある。これらの症状が強い場合は使用を中止すること。

■その他の使用上の注意、取扱い上の注意等については、添付文書をご一読ください。
カトレップ製造元 帝國製薬株式会社

第 19 回

宮崎整形外科懇話会
プログラム

期 日 平成 2 年 1 月 13 日 (土)

13 : 15 開会

会 場 宮崎観光ホテル (1 F 小戸の間)

TEL 0985 - 27 - 1212

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889 - 16

宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL 0985 - 85 - 1510 (代) 内線 2220

0985 - 85 - 0986 (直通)

参加者へのお知らせ

1. 会費等：会場受付で申し受けます。
研修会受講料 1,000円
2. 今年度年会費未納の方は受付で納入をお願いします。

口演者へのお知らせ

1. 口演時間：1題5分、討論3分程度とします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを
受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の
抄録を受付に御提出願います。

世話人会のお知らせ

12：45～13：15 1F 綾の間

特別講演について

特別講演：「抄録の書き方と講演の仕方」
島根医科大学整形外科教授

廣谷速人先生

●上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されています。

一般演題 - I

座長 小林 邦雄

1. きわめて希な骨折型を呈した脛骨粗面剝離骨折の1例
村立西米良病院 ○阿久根広宣
2. 足部散弾銃創より両側腸腰筋内膿瘍をきたした多剤耐性ブ菌の1例
県立宮崎病院 ○大崎 泰
3. 当科における切断指・肢再接着症例の検討
県立宮崎病院 ○高妻 雅和
4. 四肢長管骨骨幹部骨折のエンダー釘による髓内固定の問題点について
国立都城病院 ○植村 貞仁 脇山 尚登
宮崎市郡医師会病院 松田 寿義
5. 長幹骨骨折に対するエンダー法（辺地における治療経験）
椎葉村立病院 ○明石 裕地
宮崎県立病院 大崎 泰
西米良村立病院 阿久根広宣
東郷村立病院 中間 季雄
6. 骨盤骨折と合併症
宮崎市郡医師会病院 ○税所幸一郎 松田 寿義
竹智 義臣（外科）
宮崎医科大学 武内 晴明 桑原 茂
大江整形外科 大江 幸政
7. アキレス腱断裂術後後療法について
宮崎江南病院 ○帖佐 悦男 上塚 満
作 良彦

一般演題一 II

座長 谷 脇 功 一

8. 股関節症に対する治療上の問題点

宮崎医科大学

○園田 典生 長鶴 義隆
平川 俊一 森田 信二
浪平 辰州

9. T. H. R. (MX-1) の使用経験

宮崎江南病院

○作 良彦 上塚 満
帖佐 悦男

10. 両膝外側滑膜ヒダ障害の1例

宮崎医科大学

○津曲 孝康 武内 晴明
立山 洋司 柏木 輝行
田中 史郎 木村 千伍

11. 当科におけるPCA型ユニコンパートメント型人工膝関節の使用経験

潤和会記念病院

○吉富 健 大野 和男
田山 尚久

12. Cybex machine II による膝関節伸展・屈曲力の検討

宮崎医科大学

○黒木 龍二 田島 直也
黒木 俊政 柳園賜一郎
永井 孝文 武内 晴明

一般演題一 III

座長 尾 田 博

13. 脊髄腫瘍が疑われた頸椎椎間板ヘルニアの1例

宮崎医科大学

○永井 孝文 田島 直也
松本 宏一 田代 宏一
戸田 勝

14. 頰椎椎間板ヘルニア

県立延岡病院

○谷脇 功一 永田 高見
木屋 博昭 弓削 孝雄
平野 哲也 北村 歳男

15. 当院において最近経験した脊椎カリエスの4例

県立宮崎病院

○岩松陽一郎

16. 成人の Neurofibromatosis Scoliosis の2治験例

宮崎医科大学

○柳園賜一郎 田島 直也
松本 宏一 田代 宏一
黒木 俊政 永井 孝文
黒木 龍二

17. 宮崎県における脊柱側彎症検診の現状と問題点

— 過去9年間の結果について —

宮崎医科大学

○黒木 俊政 田島 直也
松本 宏一 田代 宏一
柳園賜一郎 永井 孝文
黒木 龍二

座長 長 鶴 義 隆

一般演題 - IV

座長 長 鶴 義 隆

18. 成人 Zone II における 両屈筋腱断裂の一次修復と早期運動療法について

山田整形外科

山田 文夫

19. 頸部リンパ節生検による副神経麻痺の1症例

宮崎医科大学

○中村 誠司 戸田 勝
黒木 隆男 田島 直也
木村 千俣

20. 肘部管内ガングリオンによる尺骨神経麻痺の1例
 宮崎医科大学 ○坂本 康典 戸田 勝
 中村 誠司 田島 直也
 木村 千俣
21. 骨盤に発生した Eosinophilic Granuloma の1例
 宮崎医科大学 ○黒木 俊政 田島 直也
 松本 宏一 田代 宏一
 柳園賜一郎 黒木 龍二
22. 成人型ビタミンD抵抗性骨軟化症を疑わせた1例
 宮崎医科大学 ○田中 史郎 田島 直也
 武内 晴明 松本 宏一
 柳園賜一郎 田代 宏一
 黒木 俊政
23. RA患者の内科的合併疾患について
 市民の森病院リウマチセンター ○金井 純次 桑原 茂

10 分 間 休 憩

特別講演

座長 木村千俣

「抄録の書き方と講演の仕方」

島根医科大学整形外科教授

廣谷速人先生

本会終了後、引き続き同会場に

おきまして第6回宮崎整形外科

セミナーが開催されます。

— 講演 —

《 膝関節の外科

— 最近の動向 — 》

愛知医科大学整形外科 教授

丹羽 滋郎 先生

第 20 回

宮崎整形外科懇話会
プログラム

期 日 平成 2 年 7 月 7 日 (土)

13:30 開会

会 場 宮崎県医師会館 (地下大ホール)

TEL 0985-22-5118

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室

〒 889 - 16

宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL 0985-85-1510 (代)内線 2220

0985-85-0986 (直通)

参加者へのお知らせ

1. 会費等：会場受付で申し受けます。
研修会受講料 2,000円
2. 今年度年会費未納の方は受付で納入お願いします。

口演者へのお知らせ

1. 口演時間：1題6分、討論3分程度とします。
2. 口演用スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付にお出し下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出願います。

世話人会のお知らせ

13:00 ~ 13:30 1F 小会議室

特別講演について

特別講演：1) 「脳性麻痺の手術療法」

長崎大学医療技術短期大学部理学療法科教授

穂山 富太郎 先生

2) 「慢性関節リウマチのリハビリテーション」

国立伊東温泉病院院長

橋本 明 先生

註1. 上記講演は日本整形外科学会教育研修会（各1単位）に認定されております。

註2. 特別講演2は日本リウマチ財団の登録医資格の教育研修の0.5単位となります。

一般演題 - I

座長 小林 邦雄

1. 胸骨骨髓炎後に胸骨部再建術を行った一例

宮医大整形外科

○鳥取部光司 田島 直也

松本 宏一 田代 宏一

戸田 勝 中村 誠司

2. 小児の大腿骨遠位骨端部に初発した骨髓炎の疑われた1例

県立延岡病院

○北村 歳男 永田 高見

谷脇 功一 木屋 博昭

弓削 孝雄 平野 哲也

3. 両側下肢損傷症例における治療上の問題点

国立都城病院

○植村 貞仁 脇山 尚登

4. 肩峰骨折を伴う烏口突起骨折の1例

永吉整形外科医院

○永吉 洋次 岩切 清文

5. 最近経験した骨肉腫の2例

宮医大整形外科

○黒木 隆男 武内 晴明
平川 俊一 黒木 俊政
津曲 孝康 黒田 宏
田島 直也

6. 診断困難であった拍動性手背部腫瘤の1例

宮医大整形外科

○園田 典生 戸田 勝
中林 誠司 田島 直也

7. 胸髄くも膜のう胞の1例

宮医大整形外科

○松田 寿義 田島 直也
松本 宏一 田代 宏一
鳥取部光司 尾田 朋樹
坂本 康典

8. Brown-Sequard 症候群を呈した頸椎椎間板ヘルニアの1例

整形外科前原病院

○中川 雅裕 前原 東洋
下野 哲朗

整形外科森園病院

森園 良幸

9. 自己血輸血施行手術例における Epoch の有効性について

宮医大整形外科

○黒木 龍二 長鶴 義隆
作 良彦 森田 信二
立山 洋司 田島 直也

10 分 間 休 憩

座長 田 島 直 也

特別講演 1) 「脳性麻痺の手術療法」

長崎大学医療技術短期大学部理学療法科教授

穂 山 富太郎 先生

10 分 間 休 憩

座長 木 村 千 仞

特別講演 2) 「慢性関節リウマチのリハビリテーション」

国立伊東温泉病院院長

橋 本 明 先生

●引き続き、第2回リウマチ研究会を開催します。

痛み、貼れ晴れ!

カトレップは、強力な鎮痛・抗炎症剤インドメタシンを有効成分とする、新しいタイプのパップ剤です。

Catlep

粘着・伸縮性

経皮鎮痛消炎剤

カトレップ®

インドメタシン パップ

- 組成 1枚(膏体19.2g)中インドメタシン96mgを含有する。
- 効能・効果
下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
筋肉痛、肩関節周囲炎、外傷後の腫脹・疼痛、腱・腱鞘炎、
腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、変形性関節症
- 用法・用量 1日2回患部に貼付する。

使用上の注意

1. 一般の注意

- (1)消炎鎮痛剤による治療は原因療法でなく対症療法であることに留意すること。
- (2)皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に投与すること。
- (3)慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には薬物療法以外の療法

- も考慮すること。また患者の状態を十分観察し、副作用の発現に留意すること。
- 2. 次の場合には使用しないこと。
本剤に対して過敏症の既往歴のある患者
- 3. 副作用
皮膚：ときに蕁麻疹、発赤、発疹、ヒリヒリ感及び腫脹があらわれることがある。これらの症状が強い場合は使用を中止すること。
- 4. 妊婦への投与
妊婦に対する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人に対しては治療上の有益性が危険性

- を上まわると判断される場合にのみ投与すること。
- 5. 小児への投与
小児に対する安全性は確立していない。
- 6. 適用上の注意
(1)損傷皮膚及び粘膜に使用しないこと。
(2)湿疹又は発疹の部位に使用しないこと。
(3)必要に応じ、テープ等で固定することが望ましい。

●取扱上の注意等については、添付文書をご一読ください。

発売元 住友製薬株式会社
(資料請求先) 〒541 大阪市東区道修町2丁目40

製造元 帝國製薬株式会社
〒769-26 香川県大川郡大内町三本松567

第21回
宮崎整形外科懇話会
プログラム

日 時 平成2年12月1日(土)

14:30開会

会 場 宮崎市郡医師会館(視聴覚教室)

(宮崎市大坪西1-2-3 TEL.0985-53-3434)

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室内

〒889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200

TEL. 0985-85-1510 (代)内線2220

0985-85-0986 (直通)

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 参加費；会場受付で申し受けます。 2000円（受付14:00 より）
2. 年会費；未納の方は受付で納入お願いします。 5000円

—— 演者へのお知らせ ——

1. 口演時間；1題6分，討論3分程度とします。
2. 口演用スライド；単写とします。演者は口演30分前までにスライドをスライド受付に御提出下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出下さい。

—— 世話人会のお知らせ ——

14:00 ～14:30 1 F 図書室

—— 特別講演のお知らせ ——

17:00 ～18:00 2 F 視聴覚教室

「中高年者における腰痛と脊柱アラインメントの異常」

旭川医科大学整形外科学教授 竹光 義治 先生

—— 懇親会のお知らせ ——

懇話会終了後、忘年会を兼ねた懇親会を開催いたしたいと思っておりますので、奮って御参加下さい。

会場；宮崎レマンホテル 2F はまゆうの間

（宮崎市京塚1-5-2 TEL. 0985-53-1131）

時間；18:30 ～20:30

開 会 (14:30)

一般演題Ⅰ.(14:30～15:20)

座長 永吉洋次

1. Wagner創外固定器を用いた上腕骨遠位端骨折の治療経験

宮崎医科大学整形外科

○樋口潤一 戸田勝
中村誠司 山口一郎
田島直也

2. 宮崎県内におけるミニバレーボールのスポーツ外傷の現状

県立延岡病院整形外科

○北村歳男 永田高見
谷脇功一 木屋博昭
弓削孝雄 越智竜弥

3. 多発性骨折における優先順位とその意義

鶴田病院

○田中晴人

4. 当科における原発性骨・軟部悪性腫瘍の治療成績

宮崎医科大学整形外科

○大田博人 桑原茂
黒木隆男 黒田宏
久保紳一郎 園田典生
田島直也

5. 脛骨に発生した骨肉腫に対する患肢温存手術の経験

宮崎医科大学整形外科

○松元征徳 桑原茂
黒木隆男 黒田宏
久保紳一郎 大田博人
田島直也

一般演題Ⅱ.(15:20～16:00)

座長 木屋博昭

6. 大腿骨頭迂り症の治療経験

宮崎医科大学整形外科

○尾田朋樹 長鶴義隆
帖佐悦男 取鳥部光司
田中史郎 田島直也

7. 人工股関節のrevisionの経験

市民の森病院

○谷口博信 税所幸一郎
黒木龍二 木村千奴

8. 外傷性膝関節血症に対する関節鏡視

永吉整形外科

○永吉洋次

岩切清文

9. 脳性麻痺性股関節障害に対する寛骨臼球状骨切り術の治療経験

宮崎医科大学整形外科

○田中史郎

長鶴義隆

帖佐悦男

取島部光司

尾田朋樹

田島直也

宮崎県立こども療育センター

岡本義久

一般演題Ⅲ (16:00 ~ 16:50)

座長

小林邦雄

10. 宮崎県における脊髄損傷の疫学的検討

1989年度1年間における発生状況について

宮崎医科大学整形外科

○久保紳一郎

田島直也

黒田 宏

11. Bipedal Rat における臨床的応用

鶴田病院

○田中晴人

12. 後側方固定 (Cotrel法) により著明な改善をみた脊髄損傷(Th₁₂)
の一例

県立宮崎病院整形外科

○河田典久

13. R A 頸椎病変に対する laminoplasty の治療経験

宮崎医科大学整形外科

○園田典生

田島直也

桑原 茂

松本宏一

14. 当科における若年性腰部椎間板ヘルニア手術例の検討

宮崎医科大学整形外科

○黒木浩史

田島直也

桑原 茂

松本宏一

久保紳一郎

——— 休 憩 (10分) ———

特別講演 (17:00 ~ 18:00)

座長

田島直也

「中高年者における腰痛と脊柱アラインメントの異常」

旭川医科大学整形外科学教授

竹光義治 先生

閉 会

第22回
宮崎整形外科懇話会
プログラム

日時 平成3年6月15日(土)

14:30開会

会場 宮崎県医師会館(地階大ホール)

(宮崎市和知川原1-101 TEL.0985-22-5118)

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室内

〒889-16

宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200

TEL. 0985-85-1510 (代)内線2220

0985-85-0986 (直通)

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 参加費；会場受付で申し受けます。 1000円（受付14:00 より）
2. 年会費；未納の方は受付で納入お願いします。 5000円

—— 演者へのお知らせ ——

1. 口演時間；1題6分，討論3分程度とします。
2. 口演用スライド；単写とします。演者は口演30分前までにスライドをスライド受付に御提出下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出下さい。

—— 世話人会のお知らせ ——

13:30 ～14:15 小会議室

—— 特別講演のお知らせ ——

17:00 ～18:00 地階大ホール

『肩とスポーツ』

福岡大学名誉教授

高岸直人先生

註 上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されておりますので、御参加下さい。
尚 受講料1000円を申し受けます。

開 会 (14:30)

一般演題Ⅰ.(14:35 ~15:10) 座長 栄 四男 (県立日南病院)

- 1.左手舟状骨偽関節の1症例
江南病院整形外科 ○山口一郎
- 2.多発性骨折に対する治療優先順位
鶴田病院 ○田中晴人
- 3.上腕骨小頭骨折の1例
県立宮崎病院整形外科 ○松浦恒明 高妻雅和

一般演題Ⅱ.(15:10 ~15:40) 座長 谷脇功一 (県立延岡病院)

- 4.経皮的髄核摘出術の小経験
——キモパイン例との比較検討——
宮崎医科大学整形外科 ○植村貞仁 田島直也
桑原 茂 松本宏一
谷口博信, 田辺龍樹
- 5.整形外科的疾患に対する電気生理学的アプローチについて
宮崎医科大学整形外科 ○中村誠司
- 6.尿失禁を主訴とした腰部椎間板ヘルニア
宮崎県立延岡病院 ○谷脇功一 永田高見
木屋博昭 弓削孝雄
越智龍弥 寺本 弘

一般演題Ⅲ.(15:40 ~16:20) 座長 小林邦雄 (県立宮崎病院)

- 7.低カルシウム食ラットにおける肥満細胞の動態
宮崎医科大学整形外科 ○田中史郎 谷口博信
田島直也
- 8.Patient Controlled Analgesia(PCA)による術後疼痛管理
宮崎市郡医師会病院 ○坂本康典 黒木俊政
宮崎医科大学整形外科 田島直也 伊勢紘平
押川整形外科 押川紘一郎

9. 多発性神経鞘腫の2例

県立宮崎病院整形外科

○志田純一 徳久俊雄

10. 宮崎県内における整形外科領域のスポーツ傷害について

——医療機関へのアンケート調査を中心に——

宮崎医科大学整形外科

○桑原 茂 田島直也

一般演題Ⅳ.(16:20 ~ 16:50) 座長 弓削達雄 (弓削整形外科)

11. 再生不良性貧血の治療に続発した小児ステロイド性大腿骨頭壊死症の一例

宮崎江南病院整形外科

宮崎医科大学整形外科

○黒木浩史 上塚 満
長鶴義隆 帖佐悦男
柏木輝行 田島直也

12. 高度大腿骨頭迂り症の治療経験

宮崎医科大学整形外科

○松元征徳 長鶴義隆
帖佐悦男 柏木輝行
田島直也

13. 10才代の股関節障害に対する治療経験 (外傷後を除く)

宮崎医科大学整形外科

○大田博人 長鶴義隆
帖佐悦男 柏木輝行
松元征徳 田島直也

——休憩 (10分) ——

特別講演 (17:00 ~ 18:00)

座長 田島直也

「肩とスポーツ」

福岡大学名誉教授

高岸直人 先生

閉 会

第23回

宮崎整形外科懇話会

プログラム

日時 平成4年1月11日(土)

14:30開会

会場 宮崎県医師会館(地階大ホール)

(宮崎市和知川原 1-101 TEL. 0985-22-5118)

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室内

〒889-16

宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL 0985-85-1510 (代) 内線2220

0985-85-0986 (直通)

FAX 0985-84-2931

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 参加費；会場受付で申し受けます。 1000円（受付14:00 より）
2. 年会費；未納の方は受付で納入お願いします。 5000円

—— 演者へのお知らせ ——

1. 口演時間；1題6分、討論3分程度とします。
2. 口演用スライド；単写とします。演者は講演30分前までにスライドをスライド受付に御提出下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出下さい。

—— 世話人会のお知らせ ——

13:30 ～ 14:15 小会議室

—— 特別講演のお知らせ ——

17:00 ～ 18:00 地階大ホール

『小児の大腿骨頭壊死』

長崎大学医学部整形外科教授

岩崎勝郎先生

註 上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されておりますので、御参加下さい。

尚、受講料 1000円を申し受けます。

—— 懇親会のお知らせ ——

懇話会終了後、新年会を兼ねた懇親会を開催致しますので、ぜひ御参加下さい。尚、会費 2000円は受付にて申し受けます。

会 場：宮崎県医師会館内

時 間：懇話会終了後（18:30 ～ 20:30の予定）

開 会 (14:30)

一般演題Ⅰ. (14:35 ~ 15:15) 座長 横山正昭 (横山整形外科医院)

1. 頭蓋内より転移したと思われる大腿骨血管周皮細胞種の1例
社会保険宮崎江南病院整形外科 ○黒木浩史 森田信二
永井孝文 上塚 満
宮崎医科大学第2病理教室 黒木隆男 河野 正

2. 当科での脊髄腫瘍例
宮崎医科大学整形外科 ○矢野浩明 田島直也
桑原 茂 松本宏一
平川俊一 長田浩伸
末永 治

3. OSSEOUS MENINGIOMAの1例
県立延岡病院整形外科 ○寺本 弘

4. 転移性脊椎腫瘍に対して、pedicle screw systemを使用した1例
宮崎医科大学整形外科 ○長田浩伸 田島直也
桑原 茂 松本宏一
平川俊一 矢野浩明
末永 治

一般演題Ⅱ. (15:15 ~ 16:05) 座長 永吉洋次 (永吉整形外科医院)

5. 距骨脱臼骨折後の無腐性壊死の治療経験
県立日南病院整形外科 ○工藤勝司 黒田 宏
栄 四男

6. 手根骨壊死と考えられる2症例
市民の森病院整形外科 ○鶴岡一人 松田寿義
税所幸一郎

7. 月状骨脱臼における小経験

県立宮崎病院

○山田強一 高妻雅和
小林邦雄

8. 先天性股関節脱臼の初期治療経験

宮崎医科大学整形外科

○寺本憲市郎 田島直也
長鶴義隆 帖佐悦男
柏木輝行

9. 第1頸髄損傷の一例

宮崎医科大学整形外科

○末永 治 田島直也
桑原 茂 平川俊一
松本宏一 田辺龍樹

一般演題Ⅲ. (16:05 ~ 16:45) 座長 弓削達雄 (弓削整形外科病院)

10. 背部皮下に触知された巨大神経鞘腫の1例

宮崎医科大学整形外科

○谷口博信 長田浩伸
松本宏一 平川俊一
桑原 茂 田島直也

11. 四肢末梢神経に発生した Schwannoma 4例について

宮崎医科大学整形外科

○松岡知己 田島直也
戸田 勝 中村誠司
金井純次 黒木隆男

12. 大腿骨骨幹部孤立性骨嚢腫搔爬後にハイドロオキシアパタイト及び自家骨移植を行った1例

国立療養所宮崎病院

○坂本康典

13. 骨形成不全症の一家系について

永吉整形外科医院

○永吉洋次 岩切清文

—— 休 憩 (15分) ——

特別講演 (17:00 ~ 18:00) 座長 田島直也

『小児の大腿骨頭壊死』

長崎大学医学部整形外科教授

岩崎勝郎先生

閉 会

第24回

宮崎整形外科懇話会

プログラム

日時 平成4年6月27日(土)
14:50開会

会場 宮崎県医師会館(地階大ホール)
(宮崎市和知川原 1-101 TEL.0985-22-5118)

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室内
〒889-16
宮崎郡清武町大字木原 5200
TEL 0985-85-1510(代)内線2220
0985-85-0986(直通)
FAX 0985-84-2931

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 参加費；会場受付で申し受けます。 1000円（受付14:20 より）
2. 年会費；未納の方は受付で納入お願いします。 5000円

—— 演者へのお知らせ ——

1. 口演時間；1題6分、討論3分程度とします。
2. 口演用スライド；単写とします。演者は講演30分前までにスライドをスライド受付に御提出下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出下さい。

—— 世話人会のお知らせ ——

14:00 ～ 14:40 小会議室

—— 特別講演のお知らせ ——

17:00 ～ 18:00 地階大ホール
『複合組織形成術としての脚延長術』
東京大学医学部整形外科教授
黒川高秀先生

註 上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されておりますので、御参加下さい。
尚、受講料 1000円を申し受けます。

開 会 (14:50)

一般演題 I. (15:00 ~15:40) 座長 徳久 俊雄 (県立宮崎病院)

1. 経過中に肺の粟粒結核症を認めた股関節結核の一症例

県立宮崎病院整形外科

○竹下都多夫 菊池直士
野々村淳一 佐本信彦
高妻雅和 徳久俊雄
小林邦雄

2. MX-1 人工股関節の使用経験

社会保険宮崎江南病院整形外科

○長田浩伸 上塚満
森田信二 麻生邦典
作良彦

3. 陳旧性前距腓靭帯損傷に対する Watson-Jones 法の小経験

宮崎医科大学整形外科

○松元征徳 黒木俊政
田島直也
河野雅行
長鶴義隆
三股恒夫

河野整形外科医院

県立日南病院整形外科

宮崎市郡医師会病院整形外科

4. Knowles pin 法による大腿骨頸部内側骨折の治療経験

医療法人康仁会谷村病院整形外科

○谷口博信 末永治
市原正彬

一般演題 II. (15:40~16:20) 座長 横山 正昭 (横山整形外科)

5. 悪性腫瘍骨転移による骨性疼痛に対するエルシトニン大量投与の経験

国立療養所宮崎病院整形外科

○黒木浩史 福田健二

6. 軸椎歯突起骨折に対する螺子固定術の治療経験

県立宮崎病院整形外科

○野々村淳一 佐本信彦
高妻雅和 徳久俊雄
小林邦雄
秋山徹

福岡赤十字病院整形外科

7. 外側開窓法によるヘルニア摘出術を施行した腰部外側型ヘルニアの症例

医療法人東陽会整形外科前原病院

○前原東洋 永山徳太郎
村永実幸

8. 小児の環軸椎亜脱臼例

宮崎医科大学整形外科

○鳥取部光司 田島直也
桑原茂 平川俊一
松本宏一

一般演題Ⅲ. (16:20 ~17:00) 座長 戸田 勝 (宮崎医科大学)

9. 筋痙攣によると考えられる骨盤骨折の一例

市民の森病院整形外科

○尾田朋樹 税所幸一郎
津曲孝康 木村千仞

10. 関節内骨折の骨釘及びティシールによる治療経験

県立日南病院整形外科

○立山洋司 長鶴義隆
黒田宏

11. Von Recklinghausen病に巨指症と正中神経腫瘍を合併した一例

宮崎医科大学整形外科

○工藤勝司 戸田勝
中村誠司 金井純次
田島直也

12. 医師会病院における病診連携

宮崎市郡医師会病院整形外科

○大田博人 三股恒夫

— 休 憩 —

特別講演 (17:00 ~ 18:00) 座長 田島直也

『複合組織形成術としての脚延長術』

東京大学医学部整形外科教授

黒川高秀先生

閉 会

第25回

宮崎整形外科懇話会

プログラム

日時 平成4年12月19日(土)
13:50開会

会場 宮崎県医師会館(地階大ホール)
(宮崎市和知川原 1-101 TEL. 0985-22-5118)

事務局 宮崎医科大学整形外科学教室内
〒889-16
宮崎郡清武町大字木原 5200
TEL 0985-85-1510(代)内線2220
0985-85-0986(直通)
FAX 0985-84-2931

—— 参加者へのお知らせ ——

1. 参加費；会場受付で申し受けます。 1000円（受付13:20 より）
2. 年会費；未納の方は受付で納入お願いします。 5000円

—— 演者へのお知らせ ——

1. 口演時間；1題6分、討論3分程度とします。
2. 口演用スライド；単写とします。演者は講演30分前までにスライドをスライド受付に御提出下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思しますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を受付に御提出下さい。

—— 世話人会のお知らせ ——

13:00 ～ 13:40 小会議室

—— 特別講演のお知らせ ——

16:00 ～ 17:00 地階大ホール

『R Aの治療』

国立都城病院整形外科

税 所 幸一郎 先生

註 上記講演は日本整形外科学会教育研修会（1単位）に認定されておりますので、御参加下さい。
尚、受講料 1000円を申し受けます。

開 会 (13:50)

一般演題 I . (14:00 ~14:40) 座長 谷脇 功一 (県立延岡病院)

1. 鎖骨骨折に対する経皮的骨接合術の治療経験

県立延岡病院整形外科

○松岡知己
谷脇功一
弓削孝雄
藤本 徹

永田高見
木屋博昭
寺本 弘

2. 外傷性肘関節脱臼に伴う肘尺側側副靭帯損傷について

永吉整形外科医院

○永吉洋次

岩切清文

3. 多発骨折後に発生した脂肪塞栓症候群の1例

宮崎医科大学整形外科

○飯干 明
黒田 宏
松本宏一
長鶴義隆
大田博人

柏木輝行
帖佐悦男
田島直也
立山洋司

県立日南病院整形外科

4. 下腿開放骨折で髓内釘固定後、骨髓炎と
金属アレルギーを併発した1症例

宮崎医科大学整形外科

○関本朝久
伊勢紘平
福元洋一
中房淳司
三股恒夫

福田健二
田代宏一
田島直也
井上勝平
黒木浩史

” 皮膚科

国立療養所宮崎病院整形外科

一般演題 II. (14:40~15:20) 座長 長鶴 義隆 (県立日南病院)

5. 変形性股関節症に対するDual Bearing型人工骨頭置換術の成績

県立延岡病院整形外科

○木屋博昭
谷脇功一
寺本 弘
松岡知己

永田高見
弓削孝雄
藤本 徹

6. 慢性関節リウマチにおけるRDCの経過を示した一例

宮崎医科大学整形外科

○山口政一郎
谷口博信
平川俊一
黒木隆男
末永 治

伊勢紘平
帖佐悦男
田島直也

〃 病理学第二
医療法人康仁会谷村病院

市原正彬

7. 脛骨顆部骨折に合併した膝窩動脈損傷の一例

県立宮崎病院整形外科

○安田幸一郎
阿久根広宣
小林邦雄

増田吉彦
佐本信彦

8. 脂肪腫による尺骨神経管症候群の一例

宮崎医科大学整形外科

○本部浩一
戸田 勝
松元征徳

田島直也
帖佐悦男

一般演題Ⅲ. (15:20 ~16:00) 座長 松本 宏一 (宮崎医科大学)

9. 大腿内転筋内に発生したextraosseous osteogenic sarcoma
の一例

宮崎医科大学整形外科

○渡邊信二
桑原 茂

谷口博信
田島直也

10. 宮崎県における脊髄損傷の追跡調査
-ADLの推移について-

宮崎医科大学整形外科

○吉田好志郎
谷口博信
桑原 茂

久保紳一郎
松本宏一
田島直也

11. DEXAの使用経験

宮崎医科大学整形外科

○渡部正一
黒田 宏
渡邊信二

田島直也
松元征徳

押川整形外科医院

押川紘一郎

12. 三次元有限要素法による腰椎関節突起間部の応力解析

宮崎医科大学整形外科

○坂本武郎
桑原 茂
帖佐悦男

田島直也
松本宏一
鳥取部光司

— 休 憩 —

特別講演 (16:00 ~ 17:00) 座長 田島直也

『R A の治療』

国立都城病院整形外科

税所 幸一郎 先生

閉 会